

医史学関係文献目録 (五十音順)

平成13(2001)年

順天堂大学医史学研究室編

- | | |
|----------------------|-----------|
| 01 単行本 | 19 細菌学史 |
| 02 医学切手・書画 | 20 産婦人科史 |
| 03 医学教育 | 21 齒学史 |
| 04 医学用語 | 22 史跡・記念碑 |
| 05 医師会・学会 | 23 疾病史 |
| 06 医史学一般 | 24 耳鼻咽喉科史 |
| 07 医の倫理 | 25 種痘史 |
| 08 医療器械 | 26 獣医学史 |
| 09 医療制度史・医療史 | 27 書簡 |
| 10 衛生・公衆衛生
・予防医学史 | 28 書誌学 |
| 11 解剖学史 | 29 小児科史 |
| 12 眼科史 | 30 神経学史 |
| 13 看護史 | 31 診断学史 |
| 14 寄生虫学史 | 32 整形外科学史 |
| 15 教室・大学史 | 33 精神医学史 |
| 16 軍陣医学史 | 34 生物学史 |
| 17 形成外科学史 | 35 西洋医学史 |
| 18 外科史 | 36 生化学史 |
| | 37 生理学史 |

- | | |
|----------------|-----------------|
| 38 地方史 | 52 法医学史 |
| 39 治療史 | 53 放射線医学史 |
| 40 伝記 | 54 本草学史・博物学史 |
| 41 伝記(双) | 55 麻酔学史 |
| 42 伝染病史・防疫史 | 56 門人録 |
| 43 東洋医学史・伝統医学史 | 57 薬学史 |
| 44 内科史 | 58 蘭学史 |
| 45 皮膚科史 | 59 リハビリテーション関係史 |
| 46 泌尿器科史 | 60 検査 |
| 47 病院史 | 61 その他 |
| 48 病跡学 | 62 中国語文献 |
| 49 病理学史 | 63 韓国語文献 |
| 50 風俗史 | 64 欧文文献 |
| 51 仏教医学史 | |

今回は17、34、50、52、63にあたる文献はありません。

01 単行本

- 青木允夫、野尻佳与子(編)『薬物名出典総索引～江戸・明治初期の薬物検索のための～』内藤記念くすり博物館(医)社団済安堂 井上病院『百年史補遺一井上眼科病院その後20年の歩み』
- チャールズ・D・オマリー、坂井建雄(訳)『ブリュッセルのアンドレアス・ヴェサリウス 1514-1564』ミクス 神奈川県立図書館『郷土神奈川』

神谷智『名古屋大学キャンパスの歴史1(学部編)』名古屋大学史資料室

看護のあゆみ展実行委員会『看護のあゆみ 京都の看護教育』厚生労働省大臣官房統計情報部『国際疾病分類歯科学及び口腔科学への適用 第3版』

厚生労働省大臣官房統計情報部『国際疾病分類神経疾患への適用 第2版』

国際日本文化研究センター宗田文庫目録編集委員会(編)『宗田文庫目録 書籍篇』国際日本文化研究センター

笹雄二『知らなかったあなたへ ハンセン病訴訟までの長い旅』(株)ポプラ社

新村拓『在宅死の時代 近代日本のターミナルケア』法政大学出版局

全国医学部長病院長会議『わが国の大学医学部(医科大学)白書'01』

内藤記念くすり博物館『大同薬室文庫蔵書目録』

長崎市教育委員会、シーボルト記念館『シーボルト関係文書マイクロフィルム目録 第1,2巻』

中西淳朗『仙花堂医史往来』

日本医学会『第119回日本医学会シンポジウム記録集 がん転移研究の新しい展開』

日本医学会『第3回日本医学会特別シンポジウム記録集 医とゲノム』

日本自律神経学会『自立神経学用語集』

野間祐輔『二宮敬作と彼をめぐるひとびと』

原平三『幕末洋学史の研究』

堀田典裕、木方十根『豊田講堂と古川図書館—名古屋大学の寄付建物—』名古屋大学 大学史資料室

見市雅俊、斎藤修、脇村孝平、飯島渉(編)『疾病・開発・帝国医療』東京大学出版会

三宅康夫『日本製剤技術史』(株)じほう

森幹郎『証言・ハンセン病 療養所元職員が見た民族浄化』現代書館

森川潤『井上毅のドイツ認識』広島修道大学総合研究所

山岸秀『差別された病 裁かれたハンセン病隔離政策』かもがわ出版

吉田信、安『吉田廣遺稿集』

和久田哲司『鍼灸・手技療法史研究 古代中国における鍼灸・手技療法の発祥と発展 <特に手技療法と他の治法との関係について>』

02 医学切手・書画

「絵ハガキで見るパリの古い病院(9)」今泉孝『医譚』(77)99-97

「赤十字物語(6)(7)」小野公義『STETHOSCOPE』(165, 166)7-12, 8-13

「医学切手「本居宣長」」金山知新『STETHOSCOPE』(167)15-17

- 「切手で医学散歩〈145〉-〈192〉」金山知新『Medical Tribune』34(1-52)
- 「東京医学散歩(第1回)」金山知新『STETHOSCOPE』(165) 2-7
- 「切手が語る医学 (No.11) 20世紀の医学の進歩; the human genome project (2)」古庄弘典『鹿児島市医報』40(4) 68-69
- 「ワン・フレーム展参加の報告」佐久間正人『STETHOSCOPE』(166) 14-21
- 「切手によるコペルニクスの生涯 I」佐久間正人『STETHOSCOPE』(167) 17-23
- 「絵葉書 泉橋慈善病院とその沿革考(抄)」寺畑喜朔『医譚』(77) 47
- 「生薬の小道 牡蠣(蛎) その2」中村實郎『STETHOSCOPE』(164) 6-9
- 「アレクサンダー・フォン・フンボルトと科学者の友人たち (2)」馬場英子『STETHOSCOPE』(164) 10-14
- 「アスクレピオスの父や息子を擬人化した蝶の名前」古川明『STETHOSCOPE』(164) 2-5

03 医学教育

- 「歴史の足跡 北海道の医学教育 戦時下女子医専設立の構想」小竹英夫『北海道医報』(963) 58-59
- 「歴史の足跡 北海道の医学教育 庁立女子医専開設準備委員と設置認可書」小竹英夫『北海道医報』(964) 36-37
- 「歴史の足跡 北海道の医学教育 道立女子医専の学則と学科目」小竹英夫『北海道医報』(965) 34-35
- 「歴史の足跡 北海道の医学教育 学則及び学科目の矛盾点」小竹英夫『北海道医報』(966) 38-39
- 「歴史の足跡 北海道の医学教育 学則及び学科目の矛盾点(続) 女子医専第2期生の募集延期」小竹英夫『北海道医報』(967) 22-23
- 「歴史の足跡 北海道の医学教育 女子医専第2期生の募集延期解除 GHQの我国衛生行政への介入」小竹英夫『北海道医報』(968) 42-43
- 「歴史の足跡 北海道の医学教育 戦後医育制度の混乱」小竹英夫『北海道医報』(969) 34-35
- 「歴史の足跡 北海道の医学教育 旭川と札幌の医大設置運動の競合」小竹英夫『北海道医報』(970) 42-43
- 「歴史の足跡 北海道の医学教育 学制も政治情勢も幾変転」小竹英夫『北海道医報』(971) 28-29
- 「歴史の足跡 北海道の医学教育 道立女子医専の教官氏名」小竹英夫『北海道医報』(972) 42-43
- 「歴史の足跡 北海道の医学教育 道立札幌医科大学開学」小竹英夫『北海道医報』(973) 42-43
- 「歴史の足跡 北海道の医学教育 道立札幌医科大学開学時の学則」小竹英夫『北海道医報』(974) 32-33
- 「歴史の足跡 北海道の医学教育 教室制から講座制へ 定

- 員の増加」小竹英夫『北海道医報』(975) 30-31
- 「歴史の足跡 北海道の医学教育 札幌医大の教育内容の変遷」小竹英夫『北海道医報』(978)28-29
- 「歴史の足跡 北海道の医学教育 札幌医大の授業時間割(1-5)」小竹英夫『北海道医報』(979-983)34-35, 40-41, 32-33, 22-23, 30-31
- 「歴史の足跡 北海道の医学教育 札幌医大の医学教育改革(1-2)」小竹英夫『北海道医報』(984-985)40-41, 36-37
- 「薬学教育と社会」澤田康文『薬史学雑誌』36(1)7-9
- 「江戸時代における医学教育と医学試験の起こり」関根透、北村中也『日本歯科医学教育学会雑誌』16(2)221-226
- 「江戸医学館」の倫理教育と医学試験 関根透、北村中也、佐野祥平、軽部裕代『日本歯科医療管理学会雑誌』36(3)273
- 「江戸医学館における医学考試について(抄)」戸出一郎『神奈川医学会雑誌』28(2)361-363
- 「歯科医学教育史資料研究①—東京歯科専門医学校と共立歯科医学校—(抄)」中原泉、樋口輝雄『日本歯科医史学会々誌』24(2)133-134
- 「歯科医学教育史資料研究②—大正10年の日本歯科大学昇格構想—(抄)」中原泉、樋口輝雄『日本歯科医史学会々誌』24(2)134-135
- 「歯科医学教育史資料研究③—京北歯科医学校と東北歯科医学校—(抄)」樋口輝雄、中原泉『日本歯科医史学会々誌』24(2)136

- 「医学館の医学考試における口科考試について(抄)」別部智司、戸出一郎、雨宮義弘『日本歯科医史学会々誌』24(2)118-119
- 「松江赤十字病院所蔵の古医書紹介 蘭医ポンペと松江藩における医学教育」森脇美智子『ほすびたる らいぶらりあん』26(2)157-162

04 医学用語

- 「老年医学用語集」『日本老年医学会雑誌』38(3)1-17
- 「健康の語源及び健康観に関する社会文化史の変遷に関する研究」碧井猛『健康文化研究助成論文集』(7)1-7
- 「ことばの由来 ミトリダテス解毒剤」飯田収『JOHNS』17(10)1542-1548
- 「健康の語源及び健康観の社会文化史の変遷に関する研究」碧井猛『千葉県医師会雑誌』53(7)1008-1013
- 「健康」という語の起源とその流布について」八木保『保健の科学』43(8)665-670

05 医師会・学会

- 「第1回米国—日本先天異常セミナー、1965年(英文)(The First U.S-Japan Teratology Seminar, 1965)」Miller Robert W.『Congenital Anomalies』41(1)47-50
- 「十五年戦争と日本外科学会總會(抄)」荻昭三『日本医史学雑誌』47(3)464-465

- 「日本整形外科学会教育研修制度の歴史と専門(認定)医制度」安土忠義『日本臨床整形外科医会誌』26(3)93-96
- 「精神医学関連学会歴史と最近の動向 日本精神衛生学会の歩み その成立と動向」榎本稔『最新精神医学』30(7)691-695
- 「日本睡眠学会 睡眠科学の発展と睡眠医学の確立に向けて」大川匡子『精神神経学雑誌』103(2)179-184
- 「第30回世界獣医史学会」報告(1)(抄)小方宗次『日本獣医史学雑誌』(38)72-73
- 「精神医学関連学会 歴史と最近の動向 日本精神分析学会 その歴史と現況」小此木啓吾『最新精神医学』6(5)489-497
- 「第30回世界獣医史学会」報告(2)(抄)勝山脩『日本獣医史学雑誌』(38)73-75
- 「財団法人日本精神衛生会の五十年」加藤伸勝『心と社会』(106)8-25
- 「日本先天異常学会の先史 日本における先天異常のパイオニアと学会の創始者達(英文)(Prehistory of the Japanese Teratology Society: The pioneers of teratology in Japan and the founders of the Society)」Kameyama Yoshiro『Congenital Anomalies』41(1)22-30
- 「臨床病理学会50年の歩み」河合忠『臨床化学』30(suppl. 2)7b
- 「精神医学関連学会 歴史と最近の動向 日本内観学会と内観医学会」川原隆造『最新精神医学』6(1)67-73
- 「北海道医史学研究会設立の頃」菊田道彦『北辰』(4)33-36
- 「循環器系学会を見直す 国内編 成人心疾患 日本心不全学会 学会設立の歴史」北畠顕『Cardiovascular Med-Surg』3(3)350
- 「日本胎盤研究会の歴史と将来」滝一郎『産婦人科の実際』50(9)1217-1227
- 「日本細胞生物学会の短編史 (A Brief History of the Japan Society for Cell Biology)」Tashiro Yutaka, Okigaki Tohru『Cell Structure and Function』26(1)1-8
- 「日本先天異常学会の最初の5年の記憶(英文)(Memories of the first five years of the Japanese Teratology Society)」Tanimura Takashi『Congenital Anomalies』41(1)31-46
- 「精神医学関連学会 歴史と最近の動向 日本臨床精神神経薬理学会」中込和幸、上島国利『最新精神医学』6(6)603-609
- 「日本脳神経外科学会の来し方と今後の歩み」半田肇『脳神経外科速報』11(1)63-67
- 「わが国における整形外科関連学会の歩み 日本手の外科学会」平澤泰介『整形外科』52(1)101-107
- 「日本補綴歯科学会の発展(抄)」平田幹男『日本歯科医史学会々誌』24(2)105-106
- 「精神医学史学会」松下正明『精神神経学雑誌』103(3)292-298
- 「体質学会50年の歩み」三村悟郎『日本体質学雑誌』6311-14
- 「アレルギー学会50年の歩み」宮本昭正『アレルギー』50(4)

- 365-368
「日本皮膚科学会創設の前後 (上下)」安井昌孝『日本医事新報』(4016-4017)55-58, 57-59
「昭和中期に見られた臨床化学関連研究会の変遷(その2)」山田光男『薬史学雑誌』36(1)36-40
「わが国における整形外科関連学会の歩み 日本脊椎脊髄病学会(旧日本脊椎外科学会)」吉沢英造『整形外科』52(2)241-245
- ## 06 医史学一般
- 「現代日本医学史とヨーロッパの影響 (Modern Japanese medical history and the European influence) (英文)」Izumi Yoshio, Isozumi Kazuo『The Keio Journal of Medicine』50(2)91-99
「解剖学と鯨学と医史学と」浅見一羊『日本医史学雑誌』47(2)420-421
「江戸の病と信仰」石出猛史『千葉医学雑誌』77(1)1-9
「故松原三郎博士遺品中の一文書—イディッシュ語で書かれた医史学史料(抄)」泉彪之助、正橋剛二『日本医史学雑誌』47(3)520-521
「日葡辞書からかいまみえる16世紀後半の国際医療」井田健『滋賀医学』24(1)113
「気質学の起源について エンペドクレスからラティーニへ」伊藤良子『京都市立看護短期大学紀要』(26)101-104

- 「ミニ・シンポジウム 医学資料の保存と管理 追加討論(抄)」稲垣裕美『医譚』(77)44-45
「ビタミン ビタミンの歴史」上原万里子『臨床検査』45(10)1049-1058
「導道が曲直瀬道三に授けた印可状(抄)」遠藤次郎、中村輝子『日本医史学雑誌』47(3)590-591
「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る30 大原八郎と野兔病」大島智夫『日医ニュース』(95)34
「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る35 石原忍と色覚表—世界に輸出された石原式色盲表—」奥沢康正『日医ニュース』(95)84
「ミニ・シンポジウム 医学資料の保存と管理 個人所蔵の保存法と限界(抄)」奥沢康正『医譚』(77)41-43
「脳とこころ 脳とこころの相関 こころの座をめぐる歴史」風祭元『こころの科学』(100)2-8
「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る25 吉田富三と発がん実験・吉田肉腫」梶田昭『日医ニュース』(94)74
「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る39 荻野久作と荻野学説」蒲原宏『日医ニュース』(96)24
「日本のことば 縄文人～現代人」菊池良太、宮田宗広、萬屋裕『日本歯科東洋医学会19回学術大会』22
「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る42 ワイル病原菌の発見と稲田龍吉」木村専太郎『日医ニュース』(96)74
「南蛮医学からオランダ医学そして西洋医学への変遷」倉山英

- 三郎『千葉県医師会雑誌』53(12)2821-2826
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 40 汗の研究の開拓者 久野寧」酒井シヅ『日医ニュース』(964)4
- 「音楽と生体の歴史」酒井シヅ『KISSEIKUR』19(3)12
- 「音楽と生体の歴史 音楽療法の科学的視点が生まれた古代ギリシャ」酒井シヅ『KISSEIKUR』19(4)14
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 41 牛海綿状脳症(狂牛病)とヒトの変異型クロイツフェルト・ヤコブ病」佐藤猛『日医ニュース』(966)4
- 「Diego 型血液型の歴史」Junqueira Pedro Clovis『日本輸血学会雑誌』47(1)78-84
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 27 田原良純とふぐ毒—世界をリードした日本のふぐ毒研究—」末廣雅也『日医ニュース』(949)4
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 22 高峰譲吉と上中啓三のアドレナリン発見から百年」菅野富夫『日医ニュース』(944)4
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 32-33 藤浪鑑と鶏肉腫(一)~(二)」杉立義一『日医ニュース』(955-956)4
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 37 山極勝三郎博士と人工タールがん」杉村隆『日医ニュース』(960)4
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 23 田原淳と心臓学の進歩」須磨幸蔵『日医ニュース』(945)4

- 「20世紀の中の医学・医療・保健 20世紀のなかのヒバクシャ医療」高木昌彦『医学史研究』(79)15-21
- 「日本人の病気観—歴史的視座から(抄)」立川昭二『日本歯科医史学会々誌』24(2)85
- 「ミニ・シンポジウム 医学資料の保存と管理(抄)」寺畑喜朔『医譚』(77)41
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 34 野口英世と梅毒 進行麻痺脳内に梅毒病原体を見いだす」長門谷洋治『日医ニュース』(957)4
- 「まちづくり思想と医療の関連性の考察(抄)」西巻明彦『日本歯科医史学会々誌』24(2)132
- 「医療とアメニティの関連性の考察(その5)(抄)」西巻明彦、陶粟嫻『日本歯科医史学会々誌』24(2)99
- 「身体性と風景のメタファー(抄)」西巻明彦、陶粟嫻『日本歯科医史学会々誌』24(2)121
- 「観察図における表現方法の変化に関する考察(その2)(抄)」西巻明彦、陶粟嫻『日本歯科医史学会々誌』24(2)126
- 「古代地中海世界人の生活と医療」廣瀬輝夫『日本医事新報』(4043)59-60
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 38 川崎富作と川崎病」深瀬泰旦『日医ニュース』(961)4
- 「我国の薬害と行政対応の歴史的経過」古泉秀夫『薬事新報』(2193)31-33
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 36 ウラジミー

- ル・ベヒテレフースターリンに殺された医師― 古川哲雄
『日医ニュース』(959)4
- 「高岡佐渡養順堂の新出史料について (速報)」正橋剛二『医
譚』(77)40
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 28 馬杉復三と
“馬杉腎炎” 馬杉洋三『日医ニュース』(950)4
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 26 症例アン
ナ・Oと精神分析」松下正明『日医ニュース』(948)4
- 「ビタミンの発見者は誰か？」満田久輝『ビタミン』75(11)
521-524
- 「ミニ・シンポジウム 医学資料の保存と管理 所蔵の資料
(文書・医書等) について (抄)」三宅宗純『医譚』(77)43-
44
- 「臨床医のためのインターネットワーキング Med-Wires イ
ンターネットで見える医学史―ギリシャ編」村田厚夫『医療
の門』41(4)340-344
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 24 志賀潔と赤
痢菌発見など」森井浩世『日医ニュース』(946)4
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 31 抗生物質開
発の祖・細菌学者・梅沢浜夫」山田光男『日医ニュース』
(954)4

07 医の倫理

- 「現代医療のもつ倫理的諸問題 東洋と西洋 中国における

- 医の倫理と医史学の役割 (Chinese Medical Ethics and the
Role of Medical History)」Unschuld Paul U.『Acta
Medica Nagasakiensia』46(Suppo.)14-20, 46-50
- 「医の心の歴史的考察 (抄)」杉田暉道『日本医史学雑誌』47(3)
492-493
- 「[リハビリテーションにおけるインフォームド・コンセント]
インフォームド・コンセントの歴史とその概念」森岡恭彦
『総合リハビリテーション』29(5)417-421

08 医療器械

- 「県立がんセンター新潟病院の消化器内視鏡の歴史」小越和
栄『県立がんセンター新潟病院医誌』40(1)2-9
- 「新潟県での消化器内視鏡の歴史 胃カメラの開発から新潟
大学への導入」小越和栄『新潟県医師会報』(613)11-13
- 「新潟県での消化器内視鏡の歴史 胃カメラ検査の普及と早
期胃がんの発見」小越和栄『新潟県医師会報』(615)11-15
- 「新潟県での消化器内視鏡の歴史 十二指腸ファイバースコ
ープの開発」小越和栄『新潟県医師会報』(616)9-15
- 「新潟県での消化器内視鏡の歴史 ERCPの開発とその普
及」小越和栄『新潟県医師会報』(617)11-17
- 「消化管内視鏡を育てた人々 ERCP(付 十二指腸鏡)」長廻
紘『クリニシアン』48(1)110-119
- 「消化管内視鏡を育てた人々 内視鏡的乳頭切開術」長廻紘
『クリニシアン』48(2)249-255

- 「消化管内視鏡を育てた人々 緊急内視鏡検査・止血」長廻紘『クリニシアン』48(5-6)581-590
- 「消化管内視鏡を育てた人々 まとめ」長廻紘『クリニシアン』48(9)914-922
- 「心臓カテーテル法の開発の歴史と将来」西村重敬、山口洋『THE CIRCULATION FRONTIER』5(4)66-70
- 「人と時代 消化管内視鏡の発展を辿る その一 内視鏡への夢想と原型の誕生」丹羽寛文『ミクロスコピア』18(2)132-138
- 「人と時代 消化管内視鏡の発展を辿る その二 実用化された内視鏡と胃鏡の誕生」丹羽寛文『ミクロスコピア』18(3)216-223
- 「手術台の変遷」根本達『医科器械学』71(9)443-450
- 「消化器病学における内視鏡の役割とその歴史的背景」比企能樹『動脈・経腸栄養』16(1)42

09 医療制度史・医療史

- 「GHQ 看護課の占領直後から約六ヶ月間の活動」城丸瑞恵『日本医史学雑誌』47(2)351-365
- 「20世紀の中の医学・医療・保健 あらためて「医制」を問う」神谷昭典『医学史研究』(79)3-7
- 「公衆衛生福祉局 (GHQ/SCAP, PHW) の成立と占領政策 (1)」金蘭九『九州看護福祉大学紀要』3(1)105-114
- 「日本初の医療訴訟」佐野文男『北海道医報』(966)2-3

- 「国民学校令期の学校衛生に関する研究 体連科「衛生」の史的役割の検討を中心に」野村良和『筑波大学体育科学系紀要』24, 97-105
- 「明治一七年から二一年までの医籍登録者について (抄)」樋口輝雄『日本医史学雑誌』47(3)488-489

10 衛生・公衆衛生・予防医学史

- 「20世紀と日本の公害問題」小田康徳『医学史研究』(79)22-30
- 「農村医学の100年を振り返って—農業労働衛生を中心に—」角田文男『労働の科学』56(2)92-95
- 「医療保障・自由集会 (1959~80)」（日本公衆衛生学会）の記録⑩難病患者と老人の在宅看護・介助をめぐる」東田敏夫『医学史研究』(79)31-36
- 「医療保障・自由集会 (1959~80)」（日本公衆衛生学会）の記録⑪プライマリー・ヘルスケアと自治体—市町村・保健所・保健センターのとりくみ—」東田敏夫『医学史研究』(79)37-44
- 「医療保障・自由集会 (1958-80)」（日本公衆衛生学会）の記録⑫「健康保険法の改正」と「医療制度抜本改正」について」東田敏夫『医学史研究』(80)16-20
- 「医療保障・自由集会 (1958-80)」（日本公衆衛生学会）の記録⑬地域住民の健康を守る市町村衛生行政と国民健康保健」東田敏夫『医学史研究』(80)21-26

「医療保障・自由集会 (1958-80)」(日本公衆衛生学会) の記録⑩国民医療の現実と課題「医療保障・自由集会」において、なにか論議されたか—記録・総括— 東田敏夫『医学史研究』(80)27-38

「古代アテネ市民の生活用水」日野英子『神奈川医学会雑誌』28(1)133

「ラマツツイーニの足跡とその業績の海外における顕彰」松下敏夫、野村茂『産業衛生学雑誌』43(増刊)316

「小田康徳「20世紀と日本の公害問題」から(資料)」水川秀海『医学史研究』(80)39-42

11 解剖学史

「日本の古人骨に関する文献 (1990-1994年) 付・補遺 (1945-1989年)」池田次郎、中橋孝博『Anthropological Science』108(2)101-131

「日本の古人骨に関する文献 (1995-2000年) 付・補遺 (1945-1994年)」池田次郎、中橋孝博『Anthropological Science』109(1)9-42

「北部九州と近隣における解剖の歴史あれこれ その1, 2(抄)」上瀉口武、小林繁、嶋村昭辰『日本歯科医史学会々誌』24(2)122, 124-125

「シャルコーベは語る」19. ネアンデルタールの謎」河本圭司『いずみ』48(1)8-9

「シャルコーベは語る」20. 北京原人、明石原人」河本圭司

『いずみ』48(2)8-9

「シャルコーベは語る」21. 日本人の祖先」河本圭司『いずみ』48(3)8-9

「シャルコーベは語る」22-23. 世界の博物館 (1-2)」河本圭司『いずみ』48(4-5)8-9

「シャルコーベは語る」24. 日本の博物館」河本圭司『いずみ』48(6)8-9

「シャルコーベは語る」25. 頭蓋杯」河本圭司『いずみ』48(7)8-9

「シャルコーベは語る」26. ハロウィーン」河本圭司『いずみ』48(8)8-9

「シャルコーベは語る」27-28. ヒマラヤの神々 (1-2)」河本圭司『いずみ』48(9-10)8-9

「レアルド・コロポ『解剖学』におけるヒトと動物(抄)」澤井直『日本医史学雑誌』47(3)560-561

「解体新書」以降の頭蓋・顔面骨用語の変遷(抄)」嶋村昭辰、小林繁、上瀉口武『日本歯科医史学会々誌』24(2)122

「W・ハーヴィのアナトミアと方法」月澤美代子『日本医史学雑誌』47(1)33-81

「ガスパール・ポーアン “Theatrum anatomicum” について (2)—“Anatomica corporis virilis et muliebris historia” (1597) との比較検討(抄)」月澤美代子『日本医史学雑誌』47(3)558-559

「レオナルド解剖手稿の心臓記述に関する年代的考察(抄)」

永田和弘『日本歯科医史学会々誌』24(2)90-91

「沖縄県具志川村カンジン原ヤッチのガマ出土の近世時代人骨」 譜久嶺忠彦、土肥直美、石田肇、西銘章『解剖学雑誌』76(1)74

「日本の古い解剖図について一人と馬と鯨」 松尾信一『日本獣医史学雑誌』(38)3-9

「青谷上寺地遺跡出土の弥生人骨に見つかった創傷痕」 松本充香、井上貴央『解剖学雑誌』76(1)74

「脳を固める・切る・染める 先人の知恵」 萬年甫『Brain Medical』13(1-4)85-92, 183-192, 287-297, 383-391

「本邦篤志解剖第一号の執刀者と三田村日誌 (抄)」 宮下舜一『日本医史学雑誌』47(3)486-487

「日本の美術解剖学書史 著者とその内容の変遷と系統解剖書の比較」 宮永美知代、島田和幸『解剖学雑誌』76(5)443-452

「中国江蘇省ウトン遺跡出土の新石器時代人四肢骨の形態的特徴 (Morphological traits for the limb bones of the Neolithic human remains excavated from Weidun site in Jiangsu, China)」 分部哲秋、佐伯和信、岡本圭史、長島聖司、中橋孝博、篠田謙一、山口敏『解剖学雑誌』76(1)74

12 眼科史

「公家・寺院日記から見た眼科の動向 (抄)」 奥沢康正『日本医史学雑誌』47(3)586-587

「医療史回り舞台 大横綱の視力障害」 篠田達明『整形・災害外科』44(3)265

「眼科学の歴史 検眼鏡の発明」 清水弘一『臨床眼科』55(11)1721-1726

「網膜色素変性症患者の心理的側面に関する研究史 (抄)」 高林雅子『日本医史学雑誌』47(3)564-565

「文庫の窓から 眼科便覧 (眼目治療手引草)」 中泉行史、中泉行弘、斎藤仁男『臨床眼科』55(9)1684-1685

「文庫の窓から 謨私篤治療集成と謨私篤黒障眼」 中泉行史、中泉行弘、斎藤仁男『臨床眼科』55(7)1467-1470

「眼科における古資料の保存と活用のための史料館建設」 野中杏一郎『医科器械学』71(4)180

「バイフォーカルコンタクトレンズ バイフォーカルコンタクトレンズの歴史」 曲谷久雄『あたらしい眼科』18(4)429-434

13 看護史

「ナイチンゲール看護学校の入学生の教育背景と19世紀英国の女性の教育 (抄)」 春日広美『神奈川医学会雑誌』28(2)363-364

「20世紀の中の医学・医療・保健 20世紀前半世紀における日本の看護の一考察 看護の歩みから看護の本質を探る」 上坂良子『医学史研究』(79)8-14

「ある開業助産婦が介助した分娩の歴史」 小林由美『母性衛生』

42(4)545-554

「占領期にて山梨県の看護政策に影響を与えたファールナー軍医(抄)」佐藤公美子『日本医史学雑誌』47(3)462-463

「女性の性の選択と助産婦の役割 歴史的視点からみた女性の性の選択と助産婦の役割」沢山美果子『日本助産学会誌』14(3)56-57

「ナースのおしゃれ考 駆け足で振り返る看護衣の歴史」杉宮克子『Nurse eye』14(1)21-24

「看護婦規則下における准看護婦の実態—免許授与・資格要件・看護料金に関して(抄)」平尾真智子『日本医史学雑誌』47(3)468-469

「看護の思想 その源泉をたずねて 生命の熱愛者」真壁伍郎『総合看護』36(1)35-48

「看護教育の精神に関する歴史学的研究 人物研究的アプローチを中心に」丸山マサ美『九州大学医療技術短期大学部紀要』(28)63-67

「看護教育の歴史と現状(1)」山崎雅代『九州看護福祉大学紀要』3(1)225-243

14 寄生虫学史

「日本史における寄生虫症 過去、現在そして未来 縄文時代から近世まで」吉田幸雄『感染症』31(1)15-18

「日本史における寄生虫症 過去、現在そして未来 近代医学黎明期における日本人寄生虫学者の活躍(その1-2)」吉田

幸雄『感染症』31(2-3)57-61, 93-97

「日本史における寄生虫症 過去、現在そして未来 太平洋戦争後現在に至る寄生虫症の変遷、そして未来」吉田幸雄『感染症』31(4)133-143

15 教室・大学史

「日本医科大学泌尿器科学教室のあゆみ」秋元成太『Journal of Nippon Medical School』68(2)133-138

「大坂女子高等歯科医学校について(第2報)(抄)」加來洋子、落合俊輔、渋谷鉦、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』24(2)116

「東洋歯科医学専門学校の日本文学への合併迄の経緯とその後の展開—主な関係者と関係書類を中心に—」工藤逸郎、三宅正彦、見崎徹、金山利吉、西山實、若松佳子、佐藤孜『日本歯科医史学会々誌』24(2)145-156

「宇都宮農林専門学校・獣医畜産学科終焉の顛末(抄)」橋本和典『日本獣医史学雑誌』(38)71-72

「高山歯科医学院の学費について(抄)」水川秀海『日本歯科医史学会々誌』24(2)113

「東北大学医学部前史(抄)」山本敏行『日本医史学雑誌』47(3)460-461

「幻の薬学校」吉澤逸雄『北辰』(4)20-26

「ライデン大学医学部の学統(抄)」吉田忠『日本医史学雑誌』47(3)457-459

16 軍陣医学史

「海軍航空医学 (抄)」黒澤嘉幸『日本医史学雑誌』47(3)466-467

「明治初期の陸軍軍医学校」黒澤嘉幸『日本医史学雑誌』47(1)105-118

「明治初期の陸軍軍医学校の卒業生」黒澤嘉幸『日本医史学雑誌』47(2)367-381

「日露戦争時の傷病俘虜者の治療と看護状況 (抄)」坪井良子『日本医史学雑誌』47(3)566-567

「横浜病院日記」の研究余滴 その3 介抱女のこと」中西淳朗『月刊保団連』(689)72-75

「横浜病院日記」の研究余滴 その4 土佐藩足軽岡本兵衛をめぐって」中西淳朗『月刊保団連』(690)62-66

「横浜病院日記」の研究余滴 その5 奥羽出張病院から船送された患者の転帰」中西淳朗『月刊保団連』(698)74-78

「横浜病院日記」の研究余滴 その6 残りの秘話」中西淳朗『月刊保団連』(702)74-78

18 外科史

「泉屋家文書の外科資料蘭文断簡、外科問考について (抄)」相川忠臣、ハルメン・ボイクルス、中西啓『日本医史学雑誌』47(3)578-579

「弁膜心疾患に対する手術の歴史と展望」飯野与志美、四津

良平、川田志明『体外循環技術』28(1)1-12

「我が邦における食道癌手術の変遷・歴史」掛川暉夫『北海道外科雑誌』46(2)188

「我が国古来よりの肛門疾患治療の変遷—痔瘻手術の変遷— (抄)」衣笠昭『神奈川医学会雑誌』28(2)363

「Radiosurgery の過去、現在、将来」小林達也『脳神経外科速報』11(7)541-550

「古今東西 開頭術史話 「生理的化膿」と予防的穿頭術」古和田正悦『ブレインナーシング』17(1)6-8

「古今東西 開頭術史話 「居眠りできる」開頭器具を求めて」古和田正悦『ブレインナーシング』17(4)310-313

「古今東西 開頭術史話 頭蓋内へ 先駆者の足跡」古和田正悦『ブレインナーシング』17(6)506-509

「古今東西 開頭術史話 巨星たち」古和田正悦『ブレインナーシング』17(7)606-608

「古今東西 開頭術史話 鎖国ジパングの外科事情」古和田正悦『ブレインナーシング』17(9)823-826

「古今東西 開頭術史話 我が国の草創期」古和田正悦『ブレインナーシング』17(10)929-932

「「ドレーン」の歴史」佐藤裕『消化器外科』24(1)103-105

「偉大な発見がなされた時からの膵臓と膵臓外科の歴史についての随想 (Thoughts on the history of the pancreas and its surgery from whence have come the great discoveries?)」Howard John M.『日本外科学会雑誌』102(増刊)

30

- 「外科資料蘭文断簡 その一 外科問考」ボイケルス・ハルメン、相川忠臣、中西啓『鳴滝紀要』(11)1-13
 「乳巖姓名録」に現れた乳癌手術患者の予後(抄) 松木明知『日本医史学雑誌』47(3)504-505

19 細菌学史

- 「日本のマイコトキシン研究を回顧し、伝えたいこと」辰野高司『マイコトキシン』51(1)1-5
 「遺伝子研究の歴史 ゲノムサイエンスの時代を迎えて」藤永けい、伊藤敬三『北海道医報』(970)22-28
 「わが国のマイコトキシン研究：その変遷と今後の展望」芳澤宅實『マイコトキシン』51(1)59-61

20 産婦人科史

- 「生殖内分泌学を築いた巨匠達の群像 プロラクチン研究 (Prolactinology) の歴史」五十嵐正雄『HORMONE FRONTIER IN GYNECOLOGY』8(2)198-207
 「生殖内分泌学を築いた巨匠達の群像 卵巣の内分泌学」五十嵐正雄『HORMONE FRONTIER IN GYNECOLOGY』8(3)320-326
 「婦人の友・婦人公論・主婦の友にみる更年期情報の歴史的变化 (1)-(2)」石井保代、佐藤珠美『母性衛生』42(3)212
 「助産婦の歴史」石原力『ペリネイタルケア』20(1-12)42-43,

162-163, 230-231, 356-357, 450-451, 534-535, 624-625, 726-727, 808-809, 898-899, 992-993, 1049-1051

- 「これからの Urogynecology 外来における骨盤内臓器の脱下垂の診断法支給脱評価法の歴史の変遷と今日の評価法」古谷健一、村上充剛、松田秀雄、菊池義公、永田一郎『産婦人科治療』83(5)546-551
 「産婦人科散歩 <3> William Smellie を中心に—18世紀の産科—」酒井シヅ『THE FEMALE PATIENT』14(1)32-33
 「産婦人科散歩 <4> Charles-Edourd Brown-Sequard—性ホルモン発見の先駆者—」酒井シヅ『THE FEMALE PATIENT』14(2)28-29
 「喜多見行正と妊娠調節論—口腔衛生上より見たる妊娠調節論(昭和7年発刊)より—(抄)」渋谷敏、武藤ゆう、宮本康子、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』24(2)112
 「子宮内膜症 最新の考え方と治療動向 子宮内膜症の歴史・概念」武谷雄二『日本臨床』59(増刊 子宮内膜症)3-7
 「大正期の医学誌からみた産児調節」平田伸子『九州大学医療技術短期大学部紀要』(28)91-97

21 歯学史

- 「矯正学の歴史 ヨーロッパの矯正学の回顧 (Reflections on European Orthodontics) (抄)」Athanasios Athanasios E.

- 『日本矯正歯科学会大会 60 回プログラム抄録集』 70
- 「矯正学の歴史 日本における矯正の歴史 発展期から現在 (抄)」石川富士郎『日本矯正歯科学会大会 60 回プログラム抄録集』 73
- 「歯科医師の死因一特に 49 歳以下の若年者について (抄)」加來洋子、渋谷幸男、渋谷敏、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』 24(2)102
- 「接着歯科医学の祖 Michael G. Buonocore の業績の研究 (抄)」亀谷博昭、森山徳長、細田幸平、富永正志『日本歯科医史学会々誌』 24(2)107-108
- 「矯正学の歴史 75 年に及ぶ日本とアメリカのチームワーク (Japanese-American Teamwork Seventy Five Years in Review) (抄)」Graber Thomas M.『日本矯正歯科学会大会 60 回プログラム抄録集』 71
- 「明治 3 年日本歯科医師会『学校歯科衛生ニ関スル調査資料』について (抄)」小島敏嗣、松田信隆『日本歯科医史学会々誌』 24(2)111
- 「歯科麻酔学の書誌学的研究 薬液電透術 (明治 31 年刊) について (抄)」渋谷敏、渋谷幸男、村木春長、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』 24(2)127
- 「歯周疾患と全身の健康 歯周疾患治療の歴史」島原政司『Clinical Calcium』 11(3)291-295
- 「PORT=EULER LEHRBUCH DER ZAHNHEILKUNDE Port=Euler Textbook of Dentistry (抄)」下総高次『日本歯科医史学会々誌』 24(2)128-129
- 「木の文化が生んだ木床義歯 (抄)」新藤恵久『日本歯科医史学会々誌』 24(2)84
- 「矯正学の歴史 日本における矯正の歴史 揺籃期 (抄)」鈴木祥井『日本矯正歯科学会大会 60 回プログラム抄録集』 72
- 「江戸時代の総合的な家庭実用書に見られる口腔衛生の記事 (抄)」高崎一郎、森山徳長『日本歯科医史学会々誌』 24(2)110
- 「セメント質構造体の概念に関する考察 (抄)」西巻明彦、陶栗爛、屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』 24(2)92
- 「『傷寒葉議』にみられる歯科的事項 (抄)」西巻明彦、屋代正幸、藤野瑠男『日本歯科医史学会々誌』 24(2)120
- 「セメント質微細構造の概念の変遷について (抄)」西巻明彦『日本医史学雑誌』 47(3)494-495
- 「法華経の中の“歯”、“口”、“舌”」日高三郎『日本歯科医史学会々誌』 24(1)16-21
- 「日本人における齶触発生部位の歴史の変遷」藤田尚『歯科基礎医学会雑誌』 43(5)52
- 「ジョン M. リッグズと歯周病治療に関する研究 (その 1) J.M. リッグズの生涯とその発表論文」牧野信之、森山徳長『日本歯科医史学会々誌』 24(2)157-161
- 「歯科医院配布用雑誌「白い玉」について (抄)」松田信隆、小島敏嗣『日本歯科医史学会々誌』 24(2)101
- 「レーザーによる歯科医療の変革 その歴史と現状」森岡俊

夫『日本レーザー歯学会誌』12(1)41

「日本海軍歯科医科士官の歴史 [XI] 制度の創設 (抄)」山崎智『日本歯科医史学会々誌』24(2)103-104

22 史跡・記念碑

「韓国印刷文化の旅—清州古印刷博物館を中心に—」石田純郎『医譚』(77)92-95

「タイ・カンボジア国境付近のクメール系遺跡散歩」石田純郎『医譚』(77)62-69

「ラオス医史跡散歩」石田純郎『医譚』(77)70-77

「根岸外国人墓地の墓碑銘 (抄)」佐分利保雄『神奈川医学会雑誌』28(1)134

「全国の「歯の塚」等に関する調査研究 (抄)」杉本是孝、中山孝子『日本歯科医史学会々誌』24(2)100

23 疾病史

「Werner 症候群研究の歴史概略 (A Brief History of Research on the Werner Syndrom) (英文)」Martin George M『Gann Monograph on Cancer Research』(49)1-10

「高血圧研究の歴史 20世紀を振り返って 高血圧研究の環境づくり The Council for High Blood Pressure Research から日本高血圧学会まで」荒川規矩男『血圧』8(11)1173-1177

「視床下部、下垂体系の内分泌調節 その研究史」有村章『脳の科学』23(2)151-172

「国家訴訟で明かされた近代ハンセン病対策の真実」和泉眞藏『看護教育』42(8)601-604

「わが国の乳癌検診の歩み」泉雄勝『日本乳癌検診学会誌』10(1)3-16

「スモン研究の歴史と現在」岩下宏『医療』55(10)510-515

「窒素工場による水俣における歴史的 1959 年猫実験の再評価 (Reappraisal of the Historic 1959 Cat Experiment in Minamata by the Chisso Factory) (英文)」Eto Komyo, Yasutake Akira, Nakano Atsuhiko, Akagi Hirokatsu, Tokunaga Hidehiro, Kojima Teruyoshi『The Tohoku Journal of Experimental Medicine』194(4)197-203

「糖尿病の歴史 (抄)」大久保慎一『神奈川医学会雑誌』28(1)133-134

「てんかん治療の歴史」大沢武志『弘前医学』52(2)31-44

「ハンセン病の歴史と精神障害者問題 障害者差別の本質的課題」大谷藤郎『精神科看護』(110)46-51

「我が国のハンセン病患者隔離の歴史と現状」片岡万里『看護』53(11)88-91

「結核の歴史 (On the history of tuberculosis)」Kaufmann Stefan H.E.『結核』76(3)185-186

「川崎病の 40 年」川崎富作『Progress in Medicine』21(1)277

「[先天性代謝異常症 最新治療] 先天性代謝異常症治療の歴

- 史」北川照男『小児内科』33(7)901-910
- 「原著を探る Shy-Drager 症候群」木下真男『Clinical Neuroscience』19(10)1195
- 「小細胞肺癌の治療 20世紀の歴史と今後の展望」久保田馨『日本呼吸器学会雑誌』39(増刊)77
- 「糖尿病学 過去・現在・未来」小坂樹徳『診断と治療』89(8)1355-1361
- 「私の結核観」小松良夫『医学史研究』(79)45-46
- 「内科医が診るリウマチ 「リウマチ」と「慢性関節リウマチ」について学ぶ リウマチ性疾患の歴史」酒井シヅ『Medicina』38(3)356-361
- 「腹痛 そのメッセージをどう読むか? 腹痛の過去と未来 医学史にみる腹痛」酒井シヅ『Modern Physician』21(12)1701-1703
- 「高血圧研究の歴史 20世紀を振り返って 21世紀 高血圧研究はどこへ向うか」猿田亨男『血圧』8(3)315-317
- 「近代血液学の建設者 白血病研究の歴史 第二次世界大戦後の研究史」柴田昭『Sysmex Journal』23(2)64-74
- 「近代血液学の建設者 白血病研究の歴史 白血病治療の研究史」柴田昭『Sysmex Journal』23(2)115-123
- 「ハンセン病熊本地裁判決に学ぶ」清水昭美『看護教育』42(8)618-621
- 「ハンセン病患者と絶対強制隔離 熊本地裁判決が示すもの」清水昭美『ナーシング・トウデイ』16(13)67-71
- 「心機能研究一筋30余年」菅弘之『医療』55(1)3-12
- 「原典・古典の紹介 明治中期日本におけるパーキンソン病の臨床の記載」高橋昭『神経内科』55(6)582-593
- 「検証・20世紀の生物科学 がん研究 化学発がんから遺伝子研究へ」武部啓『生物の科学 遺伝』55(6)83-90
- 「高血圧研究の歴史 20世紀を振り返って 大規模臨床試験 VA 試験から ALLHAT まで」築山久一郎、中瀬耕作、大塚啓子『血圧』8(2)227-232
- 「食物アレルギー研究の歴史 免疫学的研究より臨床生態学的研究が優勢であった20世紀前半」鳥居新平『喘息』14(2)105-108
- 「食物アレルギー研究の歴史 免疫学的研究が目覚ましく進んだ20世紀後半」鳥居新平『喘息』14(3)94-98
- 「職業性喘息 研究の歴史 (5)」中村晋『喘息』14(1)93-100
- 「「らい予防法人権侵害謝罪・国家賠償請求訴訟」に期待したもの」成田稔『看護教育』42(8)613-617
- 「接触性皮膚炎 化学物質を中心に アレルギー性接触皮膚炎 アレルギー性接触皮膚炎の歴史と臨床」早川律子、小塚雄民『アレルギー』50(2-3)230
- 「骨代謝研究の歴史 腎性骨症の歴史」深川雅史、黒川清『Clinical Calcium』11(2)221-225
- 「疾患概念の変遷 呼吸器疾患研究のあゆみ 気管支喘息」福田健『医学のあゆみ』198(8)521-525
- 「原典・古典の紹介 Alzheimer 病」古川哲雄『神経内科』

54(1)81-85

「デングウイルス研究 60年の回顧」堀田進『ウイルス』

51(1)105-107

「頭痛の歴史」間中信也『ペインクリニック』22(11)1525-1532

「大腸早期癌の歴史」丸山雅一『日本消化器集団検診学会雑誌』39(5)58

「肩こり 病態、治療、予防 肩こりについて その名称の由来と文献的考察」三笠元彦『整形外科看護』6(10)862-864

「AIDSの歴史 米国の場合」矢沢珪二郎『産婦人科の世界』53(11)1175-1176

「Willis 動脈輪閉塞症(もやもや病) Willis 動脈輪閉塞症(もやもや病)における歴史的考察」吉田康子、吉本高志『神経内科』54(4)315-318

「中国医書にみられる糖尿病(抄)」魯紅梅『日本医史学雑誌』47(3)540-541

24 耳鼻咽喉科史

「INFUNDIBULUMの歴史」飯沼壽孝『耳鼻咽喉科展望』44(3)168-173

「古典あれこれ 耳垢小見 12—耳垢の意義と細菌叢—」飯沼壽孝『JOHNS』17(2)234-236

「古典あれこれ 耳垢小見 13—耳垢の抗菌作用—」飯沼壽孝『JOHNS』17(5)762-765

「古典あれこれ 耳垢小見 14—組成全体—」飯沼壽孝『JOHNS』17(8)1174-1176

「古典あれこれ 耳垢小見 15—組成(脂肪、脂肪酸、ペプチド、蛋白)—」飯沼壽孝『JOHNS』17(11)1680-1683

25 種痘史

「『明治四十三年五月 種痘名簿 吉備郡X村役場』について(抄)」石田純郎『日本医史学雑誌』47(3)568-569

「種痘之図 我が国最初の種痘の成功と好生館 齋藤貴生『全国自治体病院協議会雑誌』(394)420-421

26 獣医学史

「家畜寄生虫を中心とした我が国寄生虫学の推移」板垣博『動物の原虫病』16(1)1-17

「旧海軍に於ける獣医活動 2. 前大戦間に行った牛疫研究について(抄)」久葉昇『日本獣医史学雑誌』(38)35-37

「日本書紀の捕鳥部萬の白犬墓」小佐々学『日本獣医史学雑誌』(38)47-50

「播磨国風土記の品太天皇の獺犬麻奈志漏の墓」小佐々学『日本獣医史学雑誌』(38)43-46

「寛政八年筆写『安西流五輪碎』について」島田謙造『日本獣医史学雑誌』(38)62-64

「旧海軍に於ける獣医活動 3. 野戦における陸軍獣医部勤務について(抄)」高橋威彦『日本獣医史学雑誌』(38)38-40

- 「絵巻物にみる中世獣医史料 (6)」中井薫『日本獣医史学雑誌』(38)56-61
- 「馬醫版本の研究 (英文)」中村七三『日本獣医史学雑誌』(38)10-33
- 「動物の生理学クロニクル 血圧調節と高血圧 ガレノスと心臓の歴史」西田利穂『SA Medicine』3(5)93-97
- 「『新編集成馬医方・牛医方』について」濱學『日本獣医史学雑誌』(38)65-70
- 「岩手県釜石市橋野町和山牧場における短角種牝牛選抜角突き合わせ (闘牛) の変遷について (抄)」藤原弘『日本獣医史学雑誌』(38)76-78
- 「北京図書館、北京大学図書館と中国中医研究院図書館の獣医・畜産の善本 (古典籍) の管見 (抄)」松尾信一『日本獣医史学雑誌』(38)78-79
- 「狩野文庫 (東北大学) と蓬左文庫 (名古屋市) の古い馬骨図について (抄)」松尾信一『日本医史学雑誌』47(3)496-497
- 「旧海軍に於ける獣医活動 1. 陸軍獣医部定色“紫”制定に関する新知見 (抄)」間庭秀信『日本獣医史学雑誌』(38)34-35
- 「旧海軍に於ける獣医活動 4. 旧日本陸軍獣医部の概要 (抄)」山元和一『日本獣医史学雑誌』(38)41-42

27 書 簡

「華岡青洲に宛てた杉田玄白の書簡」酒井シヅ『Mamma』(39)

表 2

- 「高野長英から大窪綱介宛の書翰 (抄)」杉立義一『日本医史学雑誌』47(3)602-603
- 「ハーバード大学図書館に残るヘボンの書簡 (抄)」高安伸子『日本医史学雑誌』47(3)572-573
- 「高岡長崎家伝蔵書簡の研究 (三)」正岡剛二『北陸医史』22(1)14-18
- 「フォン・ブランデンシュタイン家所蔵 1822年シーボルト関係書簡の翻刻ならびに翻訳 (1)」宮坂正英、ノイマン・ベルント、石川光庸『鳴滝紀要』(11)29-70

28 書 誌 学

- 「安政コレラの治験録 浅田宗伯著『治瘟編』について」青木富士彌『長野県医学会雑誌』3127
- 「江戸後期、院内銀山における人々の病氣と医師・養安の処方—「門屋養安日記」にみる庶民の医療 (五)」助昭三『北陸医史』22(1)19-31
- 「DENTAL NEWS LETTER の書誌学、および当時の米国歯科医学発達の状況 (その2) 1850年代後半について (抄)」新井勉、森山徳長『日本歯科医史学会々誌』24(2)130-131
- 「金瘡医と『金瘡療治鈔』(抄)」ゴープル アンドリュウ『日本医史学雑誌』47(3)598-599
- 「ケルスス『医学論』(16)」石渡隆司、小林晶子『医事学研究』(16)157

- 「『煙蘿子針灸法』について(抄)」上田善信『日本医史学雑誌』47(3)592-593
- 「弘前藩『御国日記』にみる癲狂について(抄)」岡田靖雄『日本医史学雑誌』47(3)478-479
- 「明治以降昭和二十年までに熊本で発行された医学医事雑誌」岡村良一『日本医史学雑誌』47(1)119-162
- 「『森家秘法眼療治術早見之歌集』」奥沢康正『啓迪』(19)17-24
- 「O・テムキンの『てんかんの歴史』にみる時代区分について(抄)」小曾戸明子『日本医史学雑誌』47(3)480-481
- 「『傷寒雜病論』における卓越した考注(抄)」郭秀梅、加藤久幸『日本医史学雑誌』47(3)542-543
- 「読解『方伎雑誌』(尾台榕堂)(その14)」笠原栄司『漢方の臨床』48(4)546-551
- 「1714年に出版されたオイスタキウス作 解剖学図版(1552)の書誌学的研究(抄)」春日芳彦、森山徳長、塩津二郎、亀谷博昭『日本歯科医史学会々誌』24(2)88-89
- 「『広東出し船一件諸書留』について」片桐一男『鳴滝紀要』(11)14-28
- 「『黄帝八十一問』」木脇祐順『日本獣医史学雑誌』(38)51-55
- 「『蔵志』の解剖学的表現について—『阿蘭陀経絡筋脈臟腑図解』との比較(抄)」計良吉則『日本医史学雑誌』47(3)510-511
- 「『医心方』房内篇についての考察」嚴善昭『日本医史学雑誌』47(2)337-349
- 「21世紀における傷寒論の意義」小曾戸洋『漢方医薬新聞』(286)6-7
- 「宗田文庫本『切紙東井御積談』について(抄)」小曾戸洋『日本医史学雑誌』47(3)588-589
- 「漏れた先哲書を読む 新編 見宜『日記中揀方』(1)」小山誠次『漢方研究』(349)4-7
- 「史記扁鵲倉公列伝・倉公の診療録 Part IV& 締め括り」権藤寿昭『福岡医師漢方研究会会報』22(2)11-25
- 「梅園資料館所蔵の医学書の紹介(抄)」佐藤裕『日本医史学雑誌』47(3)548-549
- 「19世紀末米国で発刊された歯科医学定期刊行物の総括的研究(その3)1876年から1900年の間に発刊された定期刊行物(抄)」塩津二郎、森山徳長、春日芳彦、亀谷博昭『日本歯科医史学会々誌』24(2)97-98
- 「新宮涼庭著『但泉紀行』について」杉立義一『啓迪』(19)25-30
- 「天理図書館蔵ヴェサリウス『人体構造論』」瀬川清人『ビブリリア』(115)141-132
- 「華岡青洲自筆「丸散便覧序」(抄)」高橋均『日本医史学雑誌』47(3)506-507
- 「『蔵府和名攷』について(抄)」竹内尚『日本医史学雑誌』47(3)546-547
- 「新出の潤轍版『医方大成論』をめぐる」田淵正雄『ビブリ

- ア』(115)34-39
 「金沢大学医学図書館所蔵の明治期発刊の医学医事雑誌目録」
 寺畑喜朔(編)『医譚』(77)11-19
 「『重訂解体新書』所引の『物理小識』について(抄)」陶恵寧
 『日本医史学雑誌』47(3)508-509
 「新たに発見された三輪東朔の著書『葉真途異語』」友部和弘、
 小曾戸洋、町泉寿郎、石野尚吾『日本東洋医学雑誌』51(6)
 190
 「幕末における木活字版私刊医書」中泉行史、中泉行弘、斎
 藤仁男『臨床眼科』55(11)1802-1804
 「医学史探訪 日本編「解体新書」の扉絵に秘めた杉田玄白の
 メッセージ」二宮陸雄『Nikkei Medical』(9月)140-141
 「高野長英『眼目究理篇』と蘭書原典」野村正雄『科学医学資
 料研究』(327)1-11
 「『解体新書』緑版と黄版の書誌学的考察」樋口輝雄、中原泉
 『日本歯科医史学会々誌』24(2)137-144
 「橋本伯寿『断毒論』の刊行年について」深瀬泰且『日本医史
 学雑誌』47(1)181-182
 「長崎浩齋稿『未曾欺録』について」正橋剛二『医譚』(77)21
 -39
 「『乳巖治験録』は青洲の自筆ではない」松木明知『日本医事
 新報』(4038)26-32
 「古代インドの病理論書『マーダヴァ・ニダーナ』について
 (抄)」山下勤『日本医史学雑誌』47(3)526-527

29 小児科史

- 「周産期の栄養と食事 新生児編 人工栄養の歴史」上谷松久
 『周産期医学』31(3)347-356
 「注意欠陥/多動性障害(ADHD)の歴史と概念」栗田広『日
 本児童青年精神医学会』(42回総会抄録集)23
 「小児外科の歴史と21世紀への展望に関して」駿河敬次郎
 『日本小児外科学会雑誌』37(2)232-236
 「沖縄戦後の人工栄養と保育所の変遷」長田紀春『沖縄の小児
 保健』(28)71-74
 「新生児医療の歴史 レスピレーターの変遷」馬場一雄
 『Neonatal Care』14(1)44-51
 「新生児医療の歴史 チューブフィーディングと黄疸の測定」
 馬場一雄『Neonatal Care』14(2)172-175
 「新生児医療の歴史 新生児医療のバイパス 呼吸」馬場一
 雄『Neonatal Care』14(3)266-269
 「新生児医療の歴史 新生児医療のバイパス 代謝」馬場一
 雄『Neonatal Care』14(4)362-365
 「新生児医療の歴史 新生児医療のバイパス 水中出産」馬
 場一雄『Neonatal Care』14(5)465-468
 「粉ミルクあれこれ 育児用粉ミルク開発の歴史」森田洋右
 『チャイルドヘルス』4(5)332-335

30 神経学史

- 「Kahlbaumの緊張病再考(Kahlbaum's catatonia revisited)

- (英文) Carroll Brendan T. 『Psychiatry and Clinical Neurosciences』 55(5)431-436
- 「伝達物質の放出機構 開口放出をめぐる歴史的概観」久野宗『脳の科学』 23(4)279-285
- 「神経学から見た20世紀—歴史を変えた疾患—」小長谷正明『名古屋医史談話会会報』 (28)1-7
- 「検証・20世紀の生物科学 神経系の情報伝達 シナプスの世紀」高垣玄吉郎『生物の科学 遺伝』 55(2)69-76
- 「日本神経心理学の黎明期「失語」その他の替語の由来をめぐる」濱中淑彦『名古屋市立大学医学会雑誌』 52(2)113
- 「本邦における神経心理学用語（「失語」など）の起源（抄）」濱中淑彦『日本医史学雑誌』 47(3)472-473
- 「West 症候群の臨床的同定の歴史 古典を追求して (History of clinical identification of West syndrome in quest after the classic)」Fukuyama Yukio 『Brain & Development』 23(8)779-787
- 「原典・古典の紹介 Gilles de la Tourette 症候群」古川哲雄『神経内科』 55(5)499-504
- 「原典・古典の紹介 身体図式」古川哲雄『神経内科』 54(5)472-478
- 「名古屋における自律神経研究100年の歩み（抄）」間野忠明『日本自律神経学会総会54回プログラム／抄録』 47-51
- 「William James Westとその息子 West 症候群の起源 (West Syndrome and Other Infantile Epileptic Ence-

phalopathies: West & son: the origins of West syndrome) 」Lux Andrew L. 『Brain & Development』 23(7)443-446

31 診断学史

- 「超音波映像と超音波計測の発展の歴史」中鉢憲賢『電子情報通信学会技術研究報告 (超音波)』 101(42)1-6
- 「臨床心臓電気生理学の黎明期」比江嶋一昌『臨床心臓電気生理』 2421-26

32 整形外科史

- 「整形外科医としての脊損医療35年を振り返って」大谷清『日本パラプレジア医学会雑誌』 14(1)14-15
- 「整形外科の歴史44-45 19世紀後期から20世紀初期ヘードイツ語圏諸国の整形外科の近代化—③オーストリアでの整形外科的業績(2)-(3)」蒲原宏『整形外科看護』 6(1-2)94-98, 84-88
- 「整形外科の歴史46-49 19世紀後期から20世紀初期ヘードイツ語圏諸国の整形外科の近代化—④ミュンヘン学派の成立と発展(1)-(4)」蒲原宏『整形外科看護』 6(3-6)92-95, 94-99, 86-89, 92-95
- 「整形外科の歴史50-51 19世紀後期から20世紀初期ヘードイツ語圏諸国の整形外科の近代化—⑤ミュンヘン学派への障壁の消失(1)-(2)」蒲原宏『整形外科看護』 6(7-8)90-

93, 82-86

「整形外科の歴史 52-55 19世紀後期から20世紀初期ヘードイツ語圏諸国の整形外科の近代化—⑥ドレスデン学派の形成 (1)-(4)」蒲原宏『整形外科看護』6(9-12)844-847, 936-939, 1034-1037, 1132-1135

「整形外科の歴史 56-57 19世紀後期から20世紀初期ヘードイツ語圏諸国の整形外科の近代化—⑦もうひとつのドレスデン学派 (1-2)」蒲原宏『整形外科看護』7(1-2)96-98, 88-91

「整形外科の歴史 58 19世紀後期から20世紀初期ヘードイツ語圏諸国の整形外科の近代化—⑧ハイデルベルク学派の成立と影響 (1)」蒲原宏『整形外科看護』7(3)88-91

「スクリバ博士の外科学系譜の疑義の訂正 (抄)」蒲原宏『日本医史学雑誌』47(3)576-577

「整形外科の過去と未来」桜井実『中部日本整形外科災害外科学会雑誌』44(2)257-264

「医史回り舞台 観音菩薩の脊柱側彎症」篠田達明『整形・災害外科』44(12)1394

「Colles 骨折の嚆矢—フランス人医師 Claude Pouteau (抄)」清水陽人『日本医史学雑誌』47(3)556-557

「骨代謝研究の歴史—骨 Paget 病の歴史」中塚喜義『Clinical Calcium』11(3)337-345

「外傷性肩関節不安定症の病態と治療—歴史的な変遷」水野耕作『日本整形外科学会雑誌』75(2)9

33 精神医学史

「木瓜原狂病院補助金集帳」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(53)1-3

「精神病者の監置に就いて」石川貞吉『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(52)15-21

「旧本館第五研究室の住人とその仕事」岡田靖雄『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(53)36-39

「日本の精神科医療史—ノート (13)~(18)」岡田靖雄『最新精神医学』6(1-6)75-80, 189-194, 293-298, 397-402, 499-504, 615-620

「[抗精神病薬 50年のあゆみ]日本における抗精神病薬導入と開発の歴史—抗精神病薬開発の薬理的コンセプトの変遷」風祭元『Schizophrenia Frontier』2(2)75-80

「精神病患者監護法の改正よりも先ず精神病患者法及び精神病院法を制定せよ」片山國嘉『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(52)34-38

「『精神病学提綱』(目次)」川原汎『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(51)21-29

「『軍陣衛生学』中「癲狂院」」小池正直『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(51)11-16

「『監置精神病患者発病原因調査報告』(完結)」埼玉県保健調査室『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(51)30-39

「逸脱の精神史—恋わずらいの医学」酒井明夫『こころの科学』

- (96) 118-126
「逸脱の精神史 眠れない夜」酒井明夫『こころの科学』(95) 114-121
「逸脱の精神史 魔女の告白」酒井明夫『こころの科学』(97) 97-105
「逸脱の精神史 恵みの家」酒井明夫『こころの科学』(98) 154-162
「ヨーロッパの精神医学史を辿る 中世の狂気」酒井明夫『岩手医学雑誌』52(6)441-449
「江戸時代後期における精神障害者の処遇 (3, 4)」坂原和子、桑原治雄『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(51-52) 1-10, 1-10
「心因 心因とは何か 心因と心因性精神障害 その歴史の変遷」佐藤哲哉『こころの科学』(95)10-15
「覚醒剤に関する調査資料 (上)」参議院厚生委員会専門員室『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(53)22-32
「医療史回り舞台 江戸時代奥女中の精神障害」篠田達明『整形・災害外科』44(10)1209
「江戸時代における精神障害の薬物療法」鈴木英鷹、高内茂、本多秀治、本多義治『精神神経学雑誌』103(11)975
「戦前期日本における精神病院収容患者の増加 (抄)」鈴木晃仁『日本医史学雑誌』47(3)476-477
「旅路の夢 (巢鴨病院・明治三八年) (上、中)」誠心院居士『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(52-53)11-14, 4-9
「河原汎先生—日本神経内科学の創始者—」高橋昭『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(51)17-20
「パニック障害・現代人のストレスとパニック障害 パニック障害の歴史と最近の考え方」竹内龍雄『ストレスと臨床』74-7
「日本における精神医学の歴史」武正建一『日仏医学』25(1) 1-8
「中国の脳神経学者陶烈の追憶」柘植秀臣『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(53)10-11
「神奈川県精神科医療の過去とこれからについて」津田昌利『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(53)33-35
「東京市養育院狂人室から分離していった精神障害者の処遇について 1875年から1881年の病床日誌から」津曲裕次、綾部優子『高知女子大学紀要 (社会福祉学部編)』50, 55-62
「日本之精神病院 (上)」陶烈『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(53)12-21
「精神病者地方別表 (大正六年六月三十日現在)」内務省衛生局『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(52)22-33
「日本の近代史と精神鑑定」中谷陽二『矯正医学』49(2-4)46-55
「二十世紀前半における京都・岩倉の“国際化”について (その一) (抄)」橋本明『日本医史学雑誌』47(3)474-475
「痴呆と漢方 老人性痴呆症の歴史と治験」原敬二郎『漢方と最新治療』10(3)213-215

「呉秀三「救済会」のヨーロッパにおける先達 特にドイツの救済会とイギリスのアフターケア協会のこと」原田憲一『心と社会』(104)94-105

「抗うつ薬開発の歴史と未来」樋口輝彦『医療』55(1)13-18

「抗精神病薬 50年のあゆみ」抗精神病薬開発の薬理的コンセプトの変遷」森本保人『Schizophrenia Frontier』2(2)82-85

35 西洋医学史

「チュニジア医史跡散歩」石田純郎『医譚』(77)49-61

「ヨルダン、シリア医史跡散歩」石田純郎『医譚』(77)78-91

「モーゼス・マイモニデスの医学的著作概観」泉彪之助『日本医史学雑誌』47(2)283-308

「古典あれこれ 近代外科の父 Ambroise Pare の生地ラヴァルを訪ねて」犬山征夫『JOHNS』17(7)1046-1053

「ウッドローン墓地の野口英世の墓参り紀行」井上富士男『STETHOSCOPE』(166)2-8

「明治期ドイツ留学生の絵葉書(抄)」小田皓二『日本医史学雑誌』47(3)574-575

「戦後 55年」特にドイツでの最近の見聞」品川信良『産婦人科治療』82(3)363-368

「欧米における自然医学の歴史 ヒポクラテス医学」中島文保『マニピュレーション』16(1-4)77-83, 92-98, 87-94, 98-104

「19世紀フランスにおける摂食障害 やせ願望のない時代の「やせ症」と Marce によるその記述」西園文『日仏医学』25(1)29-36

「ミューズの病跡学 アルブレヒト・デューラーと四体液説そして脾腫」早川智『産科と婦人科』68(6)796-798

「古代アテネ市民の生活用水(抄)」日野英子『神奈川医学会雑誌』28(1)133

「医学の歴史を訪ねて—イタリアの旅 3 ソルフェリーノ Solferino」星和夫『けんさ』30(4)21-24

「医学の歴史を訪ねて—イタリアの旅 4 ヴェローナ Verona」星和夫『けんさ』31(1)23-26

「医学の歴史を訪ねて—イタリアの旅 5 パドヴァ Padova」星和夫『けんさ』31(2)21-24

36 生化学史

「生殖内分泌学を築いた巨匠達の群像 視床下部ホルモンの発見と化学構造決定 ノーベル賞をめぐる決闘」五十嵐正雄『HORMONE FRONTIER IN GYNECOLOGY』8(1)92-101

「骨代謝研究の歴史 マグネシウム・カルシウムの相関研究史」糸川嘉則『Clinical Calcium』11(7)942-946

「骨代謝研究の歴史 細胞内カルシウム研究史」久野みゆき『Clinical Calcium』11(5)651-654

「骨代謝研究の歴史 細胞外カルシウム調節研究史」黒川清

『Clinical Calcium』11(6)795-800

- 「バイオフィクター研究のブレイクスルー・コリン コリン発見の歴史と生理作用」柘植治人『ビタミン』75(8)421-425
 「骨代謝研究の歴史 生物系におけるカルシウムの役割の研究史」藤田拓男『Clinical Calcium』11(4)506-508

38 地方史

- 「洋画家早田楽斎と金沢医界」赤祖父一知、今井美和『北陸医史』22(1)6-13
 「藩船「大野丸」使用の六分儀」岩治勇一『北陸医史』22(1)50-52
 「越前平泉寺「六阡坊」の侍医 龍氏」岩治勇一『福井県医師会 だより』(480)24
 「尾張藩「御医師」の基礎的研究—1603~1836 (抄)」岩下哲典『日本医史学雑誌』47(3)502-503
 「第8師団医師団が明治期弘前地区の医療の発展に及ぼした影響に関する歴史的考察」大久保保正『弘前医学』53(1)36
 「加賀藩の健康政策 向井元升『庖厨備用倭名本草』など」多留淳文『Health Sciences』17(4)218-220
 「沖縄の結核戦略とその成果 保健婦の役割 過去・現在」永山さなえ『結核』76(3)217
 「沖縄の結核戦略とその成果 沖縄の本土復帰前後の結核対策の変遷」比嘉政昭『結核』76(3)216
 「越中高岡見在江戸後期蘭語医事資料について (抄)」正岡剛

二『日本医史学雑誌』47(3)580-581

39 治療史

- 「知っておきたい生体肝移植 生体肝移植の歴史」石河隆敏『Surgery Frontier』8(4)350-355
 「透析医療 30年、その今昔」入江康文『日本透析医会雑誌』16(3)390-392
 「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 透析の創生期 (1-3)」太田和夫『透析ケア』7(10-12)1024-1028, 1139-1143, 1280-1284
 「フランス内外における森田療法の啓発普及活動」大西守、森山成あきら『日本森田療法学会雑誌』12(2)161-164
 「色紙にみる森田哲学 (29-32)」大原健士郎『日本森田療法学会雑誌』12(2)171-175
 「色紙にみる森田哲学 色紙にみる森田哲学 (24-28)」大原健士郎『日本森田療法学会雑誌』12(1)103-112
 「治療の歴史 ストレスと高血圧」苅尾七臣、梅田裕司『治療学』35(4)460-463
 「治療の歴史 肺癌治療法の歴史と新たな展開」川内伸哉、西條長宏『治療学』35(7)794-797
 「心不全薬物治療の変遷」北島頭『臨床薬理』32(3)429-431
 「睡眠障害 正確な病態把握に基づく治療法選択 治療の歴史 不眠症」小曾根基裕、伊藤洋、佐々木三男『治療学』35(3)343-346

- 「治療の歴史 糖尿病の一次予防」佐々木温子『治療学』35(1) 101-106
- 「[日本における Multidisciplinary pain clinic] Multidisciplinary pain clinic の歴史的意義と展望」塩谷正弘『ペインクリニック』22(5)606-610
- 「絶食療法の過去・現在・未来」田口文人『日本絶食療法学会会報』(21)11
- 「治療の歴史 人工心臓の開発」中谷武嗣『治療学』35(12)1363-1368
- 「EBM時代の薬物療法アルコリズム その歴史と思想」樋口輝彦『臨床精神薬理』4(4)427-436
- 「高血圧研究の歴史 20世紀を振り返って 降圧薬療法の歴史 降圧薬以前から個別治療時代まで」藤井潤『血圧』8(1) 97-101
- 「治療の歴史 ワルファリン」堀美智子、国重敦子『治療学』35(9)1015-1018
- 「治療の歴史 AIDS ワクチンの動物モデル」俣野哲朗『治療学』35(2)224-227
- 「治療の歴史 呼吸リハビリテーション」宮川哲夫『治療学』35(11)1234-1239
- 「森田正馬がみた子どもの心」村田豊久『日本森田療法学会雑誌』12(1)35-40
- 「産科における貯血式自己血輸血の歴史的推移(文献から)」山田隆司『自己血輸血』1421

- 「治療の歴史 再生医療の歴史と将来」吉里勝利『治療学』35(10)1139-1142

40 伝記

- 「浅田宗伯の醫學智環を読むにあたって」福富稔明『福岡医師漢方研究会会報』22(6)26-28
- 「葦原検校の事跡と系譜」町泉寿郎、小曾戸洋、石野尚吾『日本東洋医学雑誌』51(6)190
- 「中国歴代の名医肖像伝記 72 医 緩(イーイエン)」『漢方医薬新聞』(287)8
- 「中国歴代の名医肖像伝記 76 嚴 景(イエーン チン)」『漢方医薬新聞』(292)6
- 「日本総合医学会 50年の歩みと 21世紀への提言 食養の源流・石塚左玄に学ぶ」沼田勇『総合医学』24(3)9-11
- 「祖父梅次郎の盟友、石塚三郎先生の事跡」佐藤泰彦『日本齒科医史學會々誌』24(1)1-15
- 「森田療法の成立に関わった人、井上円了について」中山和彦『日本森田療法学会雑誌』12(2)165-170
- 「森田療法の成立に係わった人、井上円了について(その2)」中山和彦、牛島定信『日本森田療法学会雑誌』12(1)97
- 「ベルリンの井上毅」森川潤『広島修大論集』41(2)1-24
- 「中国歴代の名医肖像伝記 75 嚴 用和(イユン ヨンフー)」『漢方医薬新聞』(291)3
- 「大隈重信遭難事件と切断肢に関する研究」村地俊二、羽場俊

- 秀『日本赤十字愛知短期大学紀要』121-14
- 「精神医学における日本の業績 大橋博司の業績」濱中淑彦『精神医学』43(7)769-776
- 「東大脳研時代の小川先生」萬年甫『日本医史学雑誌』47(2)418-420
- 「日本医史学会理事長としての小川鼎三先生」岡田靖雄『日本医史学雑誌』47(2)416-418
- 「小川鼎三先生 生誕百年祭に」中井準之助『日本医史学雑誌』47(2)415-416
- 「医療史回遊紀行 女性の排卵時期を解明した産婦人科医荻野久作」篠田達明『GPnet』47(12)62-63
- 「国会図書館に寄贈された小野蘭山関係資料の目録」『慈斎研究会だより』(94)2-7
- 「Medicine and New Knowledge in Medieval Japan: Kajiwara Shozen(1266-1337) and the “Man’ampo”(1-2)」GOBLE, Andrew Edmund『日本医史学雑誌』47(1-2)226-193, 452-432
- 「華岡青洲の弟子、鎌田玄台と乳癌手術」酒井シヅ『Mamma』(40)表2
- 「医学と儒学—亀井南冥を通して—」金培懿『斯文』(109)54-65
- 「Franz Gall の骨相学」古川哲雄『神経内科』55(4)394-398
- 「古典あれこれ 血管外科の創始者 Alexis Carrel」犬山征夫『JOHNS』17(9)1382-1390

- 「先達医家の肖像〈94〉Alexis Carrel (1873-1944)」酒井シヅ『Medical Digest』(370)巻末
- 「医療史回り舞台 英雄関羽の上腕手術」篠田達明『整形・災害外科』44(5)678
- 「鏡下唱語 久保猪之吉先生のこと、あれこれ」立木孝『耳鼻咽喉科・頭頸部外科』73(3)218-220
- 「先達医家の肖像〈97〉熊谷岱藏 (1880-1962)」酒井シヅ『MEDICAL DIGEST』(373)巻末
- 「医史学シリーズ-4 クリスチャン グラム (1853-1938)」酒井シヅ『モダンメディア』47(7)巻末
- 「大英図書館で新たに発見された、ケンベルによる灸所鑑の翻訳草稿について(抄)」ミヒェル ヴォルフガング『日本医史学雑誌』47(3)584-585
- 「清医胡兆新の来日記録と業績—長崎における一八〇三〜一八〇五年の活動(一)」郭秀梅『日本医史学雑誌』47(1)83-103
- 「ミューズの病跡学 ゴヤの視力障害」早川智、山本樹生『産科と婦人科』68(8)1068-1071
- 「医療史回り舞台 西行法師の児童虐待」篠田達明『整形・災害外科』44(1)51
- 「佐伯理一郎と京都(十二) 佐伯理一郎が村田勤著『クリミヤの天使ナイチンゲール』に寄せた序文について」長門谷洋治『啓迪』(19)31-36
- 「シーボルトのアイヌ・コレクション—ライデン国立民族学博

- 物館所蔵品を中心に」山崎幸治『鳴滝紀要』(11)71-96
「司馬凌海—その名古屋時代(明治九～十二年)(抄)」高橋昭
『日本医史学雑誌』47(3)484-485
「Jackson の現代てんかん学への貢献」扇谷明『てんかん研
究』19(2)111-116
「シュヴァイツァーゆかりの土地を訪ねて 付:シュヴァイ
ツァー病院瞥見」海老沢功『日本病院会雑誌』48(11)1699-
1704
「鍼聖 杉山和一伝(八十二)地の巻」斎藤末一郎『経絡鍼療』
33(5)41-43
「日本の名神 少彦名命」酒井シヅ『CLINICIAN』48(497)4-
7
「幕末維新期の蘭方医関島良致の生き方(抄)」青木歳幸『日
本医史学雑誌』47(3)498-499
「関場不二彦の「西医学東漸史話」著述の動機となったと思わ
れる古写本と合本になっている「狂犬咬復治方」について」
秦温信『北辰』(4)27-32
「西洋医学所医師添田玄春の長崎留学(抄)」深瀬泰旦『日本
医史学雑誌』47(3)500-501
「How to make クリニカル・エビデンス—その仮設をいかに
証明するか?—[第1回]高木兼寛『脚気病栄養説』①(抄)」
浦島充佳『週刊医学界新聞』(2429)4
「高嶺徳明の生涯 日本最初の小児麻痺」奥田佳朗『障害者歯
科』22(4)287
「中国歴代の名医肖像伝記 79 唐 慎微(タン シュン メ
イ)』『漢方医薬新聞』(296)6
「中国歴代の名医肖像伝記 78 董 奉(タン フェン)』『漢方
医薬新聞』(295)6
「中国歴代の名医肖像伝記 74 銭 仲陽(チュン チョンヤ
ン)』『漢方医薬新聞』(290)8
「中国歴代の名医肖像伝記 71 巢 元方(チャオ ユエンファ
ン)』『漢方医薬新聞』(285)3
「中国歴代の名医肖像伝記 79 淳于 意(チュンウー イー)』
『漢方医薬新聞』(297)7
『『解体新書』のオランダ人翻訳者ディクテンについての研究』
石田純郎『日本医史学雑誌』47(2)309-336
「シリーズ脊椎日本史(第12回)江戸幕府9代将軍、徳川家
重の脊椎」室捷之『東海脊椎外科』15129-136
「將軍吉宗 Wernicke-Mann 肢位とりハビリテーション」舟
川格『神経内科』55(3)298-299
「仙台医学専門学校の初代細菌学教授・中川愛咲(上)」田口
文章『日本医事新報』(4041)46-48
「中川幸庵博士生誕百二十五年を記念して—肺吸虫中間宿主
の発見—」寺畑喜朔『北陸医史』22(1)41-49
「高木兼寛の弟子 永山武美」松田誠『東京慈恵会医科大学雑
誌』116(1)69-88
「三位法眼考(抄)」石原力『日本医史学雑誌』47(3)600-601
「古典あれこれ ナポレオン暗殺の真相—セント・ヘレナ島

- の謎をめぐって・第1部、第2部一」犬山征夫『JOHNS』17(3-4)478-485, 598-605
- 「昭和2年の海軍練習艦隊の遠洋航海と野口英世博士」村上光『日本医事新報』(4037)55-57
- 「野口英世博士の最後の闘い アフリカ・アクラにおける黄熱病研究(1927-28年)」コイデ サミュエル S.『日本医事新報』(4053)45-48
- 「循環器疾患研究を支えた人々 野原善次」小西與承、山澤いく宏『Cardiac Practice』12(1)109-110
- 「ロチェスターのイーストマン・デンタルセンター初代所長 Harvey J. Burkhart の生涯と業績」森山徳長『日本歯科医史学会々誌』24(1)22-28
- 「先達医家の肖像 <98> Guillaume de Baillou (William of Baillon) (1538-1616)」酒井シヅ『MEDICAL DIGEST』(374)巻末
- 「晩年の長谷川泰について(抄)」唐沢信安『日本医史学雑誌』47(3)482-483
- 「熱傷治療に江戸時代後期の外科医「華岡青洲」の果たした役割」高橋均、北岸英樹、松島知秀、大澤英寿、坂田育弘、福西健至『近畿大学医学雑誌』26(1)22 A
- 「熱傷治療に江戸時代後期の外科医「華岡青洲」の果たした役割」高橋均、北岸英樹、松島知秀、大澤英寿、坂田育弘、福西健至『日本熱傷学会機関誌』27(2)108
- 「癸亥 春林軒續薬方冊(一)」高橋均、坂田育弘、児玉重隆

- 『日本医史学雑誌』47(2)382-393
- 「日本先天異常学会の夜明け 林一郎博士(1907-1985)、日本における先天異常開拓者の一人(英文)(Dawning of the Japanese Teratology Society: Dr. Ichiro Hayashi(1907-1985), one of the pioneers of Teratology in Japan)」Okamoto Naomasa『Congenital Anomalies』41(1)53-66
- 「精神医学における日本の業績 林道倫の業績」石井毅『精神医学』43(1)81-85
- 「早矢仕有的とメディカルNPO・両幸社(抄)」中西淳朗『日本医史学雑誌』47(3)570-571
- 「原田良種先生の間像と業績について(抄)」湯浅高行、藤野珥男、屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』24(2)117
- 「古今東西 開頭術史話 傷にやさしい外科医パレ」古和田正悦『ブレインナーシング』17(3)212-215
- 「J.P.I. ヴィダルの見た高崎一富岡製糸場に勤務したフランス人医師の旅行記から一」須長泰一『群馬文化』(258)15-24
- 「ヴィダルが記録した明治初期の群馬一フランス人医師の旅行記「江戸から新潟への旅」から一」須長泰一『群馬文化』(265)43-62
- 「ヴィダルが記録した明治初期の埼玉一フランス人医師の旅行記「江戸から新潟への旅」から一」須長泰一『埼玉地方史』(45)17-28
- 「ヴィダルの上州温泉紀行一富岡製糸場勤務のフランス人医

- 師による温泉調査」須長泰一『ぐんま史料研究』(17)19-36
- 「泌尿器科学の挑戦譜 第2回 国産膀胱鏡の誕生を導いた医師 坂口勇」『Organon Urology Academia Report』(2) 6-7
- 「Billroth 教授の教育」小川道雄『日本消化器外科学会雑誌』34(4)297-302
- 「循環器疾患研究を支えた人々 廣澤弘七郎」木全心一『Cardiac Practice』12(2)219-222
- 「福澤諭吉と医学のころ」鳥居泰彦『日本眼科学会雑誌』105(増刊)104
- 「福澤諭吉の寓言『かたわ娘』(明治5年刊)(抄)」樋口輝雄『日本歯科医史学会々誌』24(2)109
- 「東京歯科医学院講師としての藤島太麻夫の業績の研究(抄)」山岸東太郎、森山徳長、長谷川正康、石川達也『日本歯科医史学会々誌』24(2)114-115
- 「藤浪鑑教授とがんの疫学調査(抄)」青木國雄『日本医史学雑誌』47(3)562-563
- 「狂牛病を神経内科医の目でみる その一 スタンレイ・プレンナー教授との思い出」金子清俊『ミクروسコピア』18(4) 288-290
- 「不破為信杏斎一華岡外科の乳癌手術」酒井シヅ『Mamma』(38)表2
- 「先達医家の肖像 <96> Stephen Hales (1677-1761)」酒井シヅ『MEDICAL DIGEST』(372)巻末
- 「解剖学の創設者 アンドレアス・ヴェサリウス その六 宮廷侍医としてのヴェサリウス」坂井建雄『ミクロスコピア』18(1)44-47
- 「解剖学の父 アンドレアス・ヴェサリウス その七 ヴェサリウスの時代の医療」坂井建雄『ミクロスコピア』18(3) 224-227
- 「古典あれこれ 上咽頭癌で逝去した不世出のホームラン王 ベーフ・ルースの不撓不屈の生涯」犬山征夫『JOHNS』17(12)1826-1833
- 「人・土地・業績 Wladimir Bechterew (1857-1927)」古川哲雄『神経内科』54(4)379-385
- 「医療史回り舞台 ベルツのヘルツ」篠田達明『整形・災害外科』44(11)1311
- 「生活習慣改善運動の先駆者、松浦有志太郎の足跡・上」田代裕『日本医事新報』(4028)39-43
- 「異色の女医間宮八重の航跡 [I、II] 一本邦 8 番目の女医・本道在住 45 年一」宮下舜二、伊藤保蔵『北海道医報』(980-981)24-27, 20-23
- 「精神医学における三浦岱栄とフランス・日本の友好 (Taiei Miura and Franco-Japanese friendship in psychiatry)」Takemasa Kenichi『The Keio Journal of Medicine』50(1)8-12
- 「医のことば 三浦梅園 荒井保男『新薬と治療』51(4)33-35

- 「三輪東朔に関する新知見(抄)」友部和弘『日本医史学雑誌』47(3)550-551
- 「軍医・鷗外森林太郎考」村上瑛一『日本医事新報』(4026)39-43
- 「古典あれこれ 臨床、病理解剖、実験、記録を基軸に『病気の座と原因』を出版した Giovanni Battista Morgani」犬山征夫『JOHNS』17(6)914-920
- 「山川登美子と結核」白崎昭一郎『医学史研究』(80)1-9
- 「中国歴代の名医肖像伝記 77 尤 怡(ヨウ イー)」『漢方医薬新聞』(293)3
- 「追悼 吉田信北海道医史学研究会会長」島田保久 他『北辰』(4)1-15
- 「吉益脩夫—断種法をめぐる人びと(その四)—」岡田靖雄『日本医史学雑誌』47(2)413-415
- 「医のことば ラエンネック」荒井保男『新薬と治療』51(6)43-45
- 「遺伝子研究の現場から 断想 分子生物学を巡る巨人フリッツ・リップマン 高エネルギーリン酸結合を提唱し、補酵素 CoA を発見した遍歴の生化学者」碧井猛『日本全身咬合学会雑誌』7(2)103-107
- 「ミューズの病跡学 レンブラント パテシバの乳癌」早川智『産科と婦人科』68(5)656-659
- 「世界の皮膚科学者 Dr. Jean-Claude Roujeau」塩原哲夫『西日本皮膚科』63(2)197-198

- 「和気広虫について(抄)」半井英江『日本医史学雑誌』47(3)516-517
- 「ジョウジ・ワシントンの死について(抄)」藤倉一郎『日本医史学雑誌』47(3)524-525
- 「和田東郭医学と21世紀 五臓の病的な熱の処理を通して」細野八郎『日本東洋医学雑誌』51(6)817-843
- 「知られざる医史学者・渡辺奎輔(抄)」町泉寿郎『日本医史学雑誌』47(3)552-553
- 「先達医家の肖像 <99> Selman Abraham Waksman (1888-1973)」酒井シヅ『MEDICAL DIGEST』(375)巻末
- 「中国歴代の名医肖像伝記 73 王 思中(ワン スーチョン)」『漢方医薬新聞』(288)2

41 伝記(双)

- 「腎臓の探求史 アリストテレスとガレノス 腎臓・尿管・膀胱の働きを見いだした古代の学者たち」坂井建雄『腎臓』24(1)29-34
- 「気管支鏡の黎明期 Gustav Killian と久保猪之吉の生涯」白川妙子、Becker Heinrich D.『気管支学』23(2)161-171
- 「水谷助六の植物図譜とシーボルト・土生玄碩」山口隆男、加藤億重『慾齋研究会だより』(95)2-7
- 「シーボルトと眼科医伊東昇迪(抄)」酒井シヅ『日本医史学雑誌』47(3)582-583
- 「足部に名前を残す二人のフランス人—Chopart と Lisfranc

- (抄) 小林晶『日本医史学雑誌』47(3)554-555
- 「心臓刺激伝導系の発見から95年 田原淳の手紙の発見とアショフ-田原国際シンポジウム」島田宗洋『ミクロスコピア』18(2)122-124
- 「仲田家の医家たち」仲田永造『医譚』(77)1-10
- 「西村秀雄と村上氏広 世界的リーダー-先天異常学者(英文)(Hideo Nishimura and Ujihiro Murakami; world's leading teratologists)」Shepard Thomas H.『Congenital Anomalies』41(1)51-52
- 「産婦人科散歩 <4> Charles-Edouard Brown-Sequard-一性ホルモン発見の先駆者-」酒井シヅ『The Female Patient』14(2)28-29
- 「近代横浜医学への歩み-松山棟庵と松山不苦庵義定まで-」中西淳朗『郷土神奈川』(39)1-12
- 「徐霊胎と吉益東洞-その学術思想における異同点およびその原因の研究」黄煌『日本医史学雑誌』47(2)229-260

42 伝染病史・防疫史

- 「Leprosy Museum」河部康男『STETHOSCOPE』(167)2-14
- 「ワイル病原生物の発見 歴史的展望 (Discovery of the causative organism of Weil's disease: historical view)」Kobayashi Yuzuru『Journal of Infection and Chemotherapy』7(1)10-15

- 「新しいミレニアムにおける慢性感染症 慢性感染症のトータルケアをめざして 細菌感染症の制圧の歴史と今後の展望」砂川慶介『小児内科』33(3)303-306
- 「中日疫病史における伝染説提唱の先覚者-具有性と橋本伯寿(抄)」邵沛『日本医史学雑誌』47(3)604-605
- 「戦後結核の推移」白崎昭一郎『北陸医史』22(1)1-5
- 「考古学 トレポネーマ症の古病理学 江戸の徒花 梅毒の流行」鈴木隆雄『THE BONE』15(3)265-269
- 「ペスト残影 (11) バイエレンの巻(抄)」滝上正『神奈川医学会雑誌』28(2)363
- 「Discovery of the Adult Schistosoma japonicum, a Causative Agent of Schistosomiasis in the Katayama Area of Hiroshima Prefecture (英文)」Jun Maki, Masahiro Mikami, Shichiro Maruyama, Hiroshi Sakagami, Masahiro Kuwada『薬史学雑誌』36(1)32-35
- 「25年間の感染症の変貌と化学療法 本会の発足時を想って」松本慶蔵『臨床と研究』78(2)371-374
- 「大正三年の東京における発疹チフスの大流行について(抄)」渡部幹夫『日本医史学雑誌』47(3)470-471

43 東洋医学史・伝統医学史

- 「甘肃省敦煌の懸泉置遺址から出土した漢代の紙と薬名」猪飼祥夫『漢方の臨床』48(6)855-860
- 「『邪気盛則実、精気奪則虚』の意義」遠藤次郎、橋本和也、

- 中村輝子『漢方の臨床』48(5)707-715
- 「大塚敬節による『類聚方広義』解釈 (14-23)」大塚賢治、渡辺洋井『漢方の臨床』48(2-8, 10-12)273-291, 417-427, 529-539, 716-729, 835-847, 957-967, 1058-1074, 1367-1381, 1531-1544, 1686-1694
- 「多紀元堅の傷寒論講義 (21, 22) (存誠塾傷寒論記聞)」岡利幸『漢方の臨床』48(2, 3)292-294, 397-403
- 「産婦人科医のための漢方の知識 日本漢方の歴史と現在」後山尚久『産婦人科治療』82(2)237-243
- 「注目したい文献『傷寒論』研究の歴史の変遷」黄煌『中医臨床』22(1)124-130
- 「中医学発展史における学派の役割」黄政徳『中医臨床』22(4)540-543
- 「漢方の歴史 (抄)」小曾戸洋『神奈川医学会雑誌』28(1)131-133
- 「鍼灸の歴史—中国古代から宋代まで—」小曾戸洋『斯文』(109)82-104
- 「目でみる漢方史料館 (158) 常那識此勿令誤—『勿誤薬室学規』」小曾戸洋『漢方の臨床』48(8)1050-1052
- 「目でみる漢方史料館 (160) 馬王堆漢墓出土医書—『五十二病方』『養生方』」小曾戸洋『漢方の臨床』48(10)1330-1332
- 「火薬の発明と中国伝統医薬学」小曾戸洋『日本医史学雑誌』47(1)182-184
- 「三陰交の明堂関係医書の主治病證と経脈病證 (抄)」木場由衣登『日本医史学雑誌』47(3)530-531
- 「21世紀における傷寒論の意義 中国と沖縄・本土の漢方に差があるか? 食文化の歴史からのおたずね」佐原真『日本東洋医学雑誌』51(6)100-101
- 「チベット医学体系 その歴史と亡命チベット政府における現状」Samten Jampa『アーユルヴェーダ研究』(31)145-149
- 「日本近世初期鍼灸流派の概括」篠原孝市、石野尚吾『日本東洋医学雑誌』51(6)191
- 「『灸鍼図』の考察 (抄)」篠原孝市『日本医史学雑誌』47(3)594-595
- 「フランスを中心に、欧州の鍼治療の歴史と現状」Sautreuil Patrick『全日本鍼灸学会雑誌』51(3)310-311
- 「モンゴル伝承医学について」蘇和畢力格『アーユルヴェーダ研究』(31)229-232
- 「『医学天生記』について (二)」高島文一『啓迪』(19)9-16
- 「山田業広著『金匱要略集注』訓読 (20-22)」千葉古方漢方研究会『漢方の臨床』48(3, 7, 12)404-410, 984-988, 1708-1713
- 「目でみる漢方史料館 (159) 新発見の三輪東朔の著書『薬真途異語』」友部和弘『漢方の臨床』48(9)1186-1188
- 「『脈経』二十四脈状の構造分析—遅数と疎疾の相違点 (抄)」中川俊之『日本医史学雑誌』47(3)528-529
- 「目でみる漢方史料館 (161) 森中虚自筆本『意仲玄奥』—中国

- 医学の日本化を考える基本文献—」長野仁『漢方の臨床』48(11)1473-1475
- 「日本鍼灸小史『黄帝蝦蟇経』臨模影写旧鈔本の出現」長野仁『鍼灸 OSAKA』17(1)5-7
- 「日本鍼灸小史 寛文九年成・飯村玄斎考「銅人形」覚書 紀州は和製「銅人形」発祥の地か？」長野仁『鍼灸 OSAKA』17(2-3)167-176, 219-223
- 「日本鍼灸小史 寛文九年成・飯村玄斎考「銅人形」覚書 紀州は和製「銅人形」発祥の地か？」長野仁『鍼灸 OSAKA』17(3)219-223
- 「『傷寒論新疏』を読む」長谷川弥人『漢方の臨床』48(5)736-742
- 「古医書読解のための漢文速成講座 続編(3, 4, 5, 6, 9)」長谷川弥人『漢方の臨床』48(2, 3, 4, 6, 9)307-319, 447-454, 577-583, 873-881, 1299-1305
- 「森立之の『続古方薬議』を読んで」長谷川弥人『漢方の臨床』48(10)1431-1435
- 「『扁鵲心書』の鍼灸について(抄)」北江龍也『日本医史学雑誌』47(3)532-533
- 「東洋医学資料展示室展示品解説(1)」町泉寿郎『漢方と鍼』25(3)4
- 「目でみる漢方史料館(156) 葦原檢校の事跡」町泉寿郎『漢方の臨床』48(6)762-764
- 「目でみる漢方史料館(162) 児島宝素投影図の由来」町泉寿郎『漢方の臨床』48(12)1618-1620
- 「目でみる漢方史料館(151) 日本の扁鵲像」町泉寿郎『漢方の臨床』48(1)2-4
- 「目でみる漢方史料館(152) 望月三英の書簡」町泉寿郎『漢方の臨床』48(2)186-188
- 「目でみる漢方史料館(153) 多紀元簡の尺牘」町泉寿郎『漢方の臨床』48(2)338-340
- 「目でみる漢方史料館(154) 荻野元凱の書簡(桂川周甫宛)」町泉寿郎、多留淳文『漢方の臨床』48(4)474-476
- 「医学史『扁鵲伝集義』初探」松木きか『鍼灸 OSAKA』16(4)373-380
- 「目でみる漢方史料館(157) 大英図書館所蔵の敦煌医薬文書(1)」真柳誠『漢方の臨床』48(7)906-908
- 「台湾故宮所蔵の日本関連古医籍(抄)」真柳誠『日本医史学雑誌』47(3)544-545
- 「消化器疾患の漢方療法 その歴史・現在・未来」水野修一『日本小児外科学会雑誌』37(1)149
- 「目でみる漢方史料館(155) 浅井正禰書入本『扁倉伝割解』」宮川浩也『漢方の臨床』48(5)610-612
- 「鍼灸歌賦の研究—「玉龍歌」(抄)」宮川浩也『日本医史学雑誌』47(3)534-535
- 「日本の鍼灸を輸入した中国民国時代鍼灸医学家—承淡安の業績について(抄)」宮川隆弘『日本医史学雑誌』47(3)538-539

- 「東洋医学の流れ 劉向～長沢道寿」宮田宗広、菊池良太、萬屋裕『日本歯科東洋医学会 19 回学術大会』22
- 「日本漢方の腹診—大塚敬節先生からの継承—」山田光胤『漢方の臨床』48(9)1194-1204
- 「資料でたどる日本鍼灸史 9 「医心方」の「鍼灸」は日本化の始まりか？」山本徳子『医道の日本』60(2)197-198
- 「資料でたどる日本鍼灸史 10 説話集にみる丹波康頼の子孫たち」山本徳子『医道の日本』60(3)190-191
- 「資料でたどる日本鍼灸史 11 鎌倉期の医書に見る鍼灸」山本徳子『医道の日本』60(5)168-169
- 「資料でたどる日本鍼灸史 12 制度上から消失した鍼師・鍼生」山本徳子『医道の日本』60(8)201-203
- 「資料でたどる日本鍼灸史 13 田代三喜の医書における鍼灸治療」山本徳子『医道の日本』60(10)187-189
- 「資料でたどる日本鍼灸史 14 曲直瀬道三の鍼灸—『啓迪集』について」山本徳子『医道の日本』60(13)198-201
- 「柯琴の“以方名証”説が吉益東洞の“方証相对”説へ与えた影響」兪雪如『漢方の臨床』48(1)96-102
- 「『療難指示』(尾台榕堂著)について(1)」横田観風『漢方の臨床』48(3)346-355
- 「『頓医抄』における脈法(抄)」吉岡広記『日本医史学雑誌』47(3)596-597
- 「中国伝統医学と道教(第二十二回)「祝由」(抄)」吉元昭治『日本医史学雑誌』47(3)536-537

44 内 科 史

- 「日本における老人医学の源流(抄)」寺畑喜朔『日本医史学雑誌』47(3)490-491

45 皮 膚 科 史

- 「日本皮膚科学会黎明期の先達たち 村田謙太郎と宇野朗」石橋康正『日本皮膚科学会雑誌』111(4)604-608
- 「日本人の皮膚科学への貢献 日本人が記載した皮膚疾患」今村貞夫『日本皮膚科学会雑誌』111(12)1736-1738
- 「日本皮膚科学会と松浦有志太郎」今村貞夫『日本皮膚科学会雑誌』111(4)623-624
- 「日本人の皮膚科学への貢献 自己免疫性疾患 膠原病と水疱症研究の100年」岩月啓氏『日本皮膚科学会雑誌』111(12)1751-1756
- 「日本人の皮膚科学への貢献 「形」を気にした男達」小野友道『日本皮膚科学会雑誌』111(12)1757-1758
- 「病院にとっておきのもの 済生館と日本皮膚病黴毒図譜」櫻田俊郎『全国自治体病院協議会雑誌』(397)
- 「日本と英国の歴史は皮膚科学においてリンクしている(The History of Japanese and British Links in Dermatology)」Ryan Terence J『日本皮膚科学会雑誌』111(4)670-678
- 「日本皮膚科学会と土肥慶蔵」長門谷洋治『日本皮膚科学会雑誌』111(4)609-621

- 「土肥慶蔵『日本皮膚病微毒図譜』再考」長門谷洋治『北陸医史』22(1)32-40
- 「皮膚科医学史 外用剤の様式古処方あれこれ-1-4」中西淳朗『皮膚病診療』23(2-5)216-218, 320-323, 428-430, 528-530
- 「医方卷石秘録にみられる洋式外用薬について」中西淳朗『日本医史学雑誌』47(2)412-413
- 「日本人の皮膚科学への貢献 角化症に魅せられし人々」橋本公二『日本皮膚科学会雑誌』111(12)1743-1744
- 「『皮膚』誌の歴史 その43巻のあゆみ」畑清一郎『皮膚』43(6)326-328
- 「皮膚筋炎むかしがたり」肥田野信『皮膚科の臨床』43(10)1173-1174
- 「Biett (1781-1840) から Dohi (1866-1931) まで 控斑性狼瘡の体系 (From Biett (1781-1840) to Dohi (1866-1931): Iconography of Lupus erythematosus)」Fatovic-Ferencic Stella, Holubar Karl『日本皮膚科学会雑誌』111(3)534
- 「太田正雄先生の医真菌学領域における業績について」福代良一『日本皮膚科学会雑誌』111(4)625-630
- 「オーストリアと日本 皮膚科学における早期の関係 歴史的展望における“インペリアル”コネクション (“Imperial” Connection in Historical Perspective)」Holubar Karl, Fatovic-Ferencic Stella『日本皮膚科学会雑誌』111(4)659-669

46 泌尿器科史

- 「泌尿器科学の挑戦譜 第1回 国産膀胱鏡の開発」『Organon Urology Academia Report』(1)10-11
- 「ミュージズの病跡学 マラン・マレーの膀胱結石手術」早川智、山本樹生『産科と婦人科』68(11)1627-1630

47 病院史

- 「博愛社の組織的特徴に関する歴史的分析」川口啓子『日本医療経済学会会報』(63)44-69
- 「順天堂の現代史」酒井シヅ『順天堂医学』47(2)156-160
- 「ロイヤル・マーズデン病院の設立と発展 (抄)」柳澤波香『日本医史学雑誌』47(3)522-523

48 病跡学

- 「ニザーミー・ガンジャヴィー 時代と創造性」金川英雄『日本病跡学雑誌』6299-100
- 「ミュージズの病跡学 ブラームス 子守歌と睡眠時無呼吸発作」早川智『産科と婦人科』68(4)514-516

49 病理学史

- 「世紀を越えた病理学の歩み 代替医療へ進出の提唱」笹野伸昭『仙台赤十字病院医学雑誌』10(1)3-7
- 「近世初期の病理学・治療法—『古寫本 鍼灸秘書』による考察 (抄)」戸田静男、亀節子『日本医史学雑誌』47(3)518-

51 仏教医学史

- 「ドイツのアーユルヴェーダ医学情報」Kraft Karin『アーユルヴェーダ研究』(31)153-155
- 「スリランカにおけるアーユルヴェーダとその将来」Pilapitita Upali『アーユルヴェーダ研究』(31)110-118
- 「日本におけるアーユルヴェーダの現状と将来」上馬場和夫『アーユルヴェーダ研究』(31)42-49
- 「アーユルヴェーダに鍼治療はあるか」工藤晴美『アーユルヴェーダ研究』(31)57-72
- 「インド医学史における医療化学と錬金術」佐藤任『アーユルヴェーダ研究』(31)34-35
- 「古代インドの医学と密教 石の薬と錬金術」佐藤任『アーユルヴェーダ研究』(31)36-38
- 「古代中国医療とアーユルヴェーダ医学」和久田哲司『アーユルヴェーダ研究』(31)50-56

52 法医学史

- 「会新第十報」にみられるクロールカルシウム静脈注射事件 第一審裁判の記録—第1報 第1回公判まで—(抄)石橋肇、渋谷勉、大場重信、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』24(2)93-94

53 放射線医学史

- 「レントゲンのX線発見の前後 ノーベル物理学賞受賞100周年にちなんで」大場覚『日本医学放射線学会雑誌』61(11)S 275
- 「放射線医学 100年の歴史を回顧し 21世紀の放射線科について提言する」片山仁『日本医学放射線学会雑誌』61(7)326-331
- 「放射線医学 100年の歴史を回顧し 21世紀の放射線科について提言する(抄)」片山仁『日本医学放射線学会雑誌』61(2)8
- 「導入初期の臨床における X線の運用 (第1報~2報)」木村益雄『日本放射線技師会雑誌』48(8, 10)1034-1049, 1426-1443
- 「導入初期の臨床における X線の運用 資料集」木村益雄『日本放射線技師会雑誌』48(11)1539-1548

54 本草学史・博物学史

- 「慾齋が山本榕室に贈った遣欧使節齋来の植物」遠藤正治『慾齋研究会だより』(93)3-7
- 「尾張名古屋の博物学」岸雅裕『名古屋医史談話会会報』(30)1-7
- 「田村西湖の『本草綱目記聞』」草野冴子『ぐんしょ』14(3)12-16

55 麻酔学史

「日本におけるオンブレダン吸入器 (The Ombredanne inhaler in Japan)」Mclntyre John W.R. 『Journal of Anesthesia』15(2)114-116

「パイオニアが語る日本の麻酔の歴史 モニタリングの歩み」池田和之『LiSA』8(8)738-742

「パイオニアが語る日本の麻酔の歴史 低体温麻酔の歩み」涌澤玲児『LiSA』8(4)366-370

「パイオニアが語る日本の麻酔の歴史 硬膜外麻酔の歩み」小坂義弘『LiSA』8(3)264-266

「パイオニアが語る日本の麻酔の歴史 小児麻酔の歩み」里吉光子『LiSA』8(5)456-460

「医療史回遊紀行 華岡青洲より一世紀早く行われた琉球王子の全身麻酔」篠田達明『GPnet』47(11)58-59

「パイオニアが語る日本の麻酔の歴史 静脈麻酔の歩み」高橋長雄『LiSA』8(2)184-187

「パイオニアが語る日本の麻酔の歴史 脳神経外科麻酔の歩み」武下浩『LiSA』8(8)744-747

「パイオニアが語る日本の麻酔の歴史 筋弛緩薬の歩み」橋本保彦『LiSA』8(3)268-272

「パイオニアが語る日本の麻酔の歴史 産科麻酔の歩み」藤森貢『LiSA』8(5)462-464

「パイオニアが語る日本の麻酔の歴史 “麻酔科学”の歴史 その意義とパイオニアたち」松木明知『LiSA』8(1)86-88

「パイオニアが語る日本の麻酔の歴史 “麻酔科学”の語史」松木明知『LiSA』8(9)876-878

「麻酔科学史の新研究 八甲田山雪中行軍の被救助者はどんな麻酔法を受けたのか」松木明知『麻酔』50(4)441-447

「麻酔科学史の新研究 “麻酔”の語史」松木明知『麻酔』50(5)561-567

「パイオニアが語る日本の麻酔の歴史 ペインクリニックの歩み」水口公信『LiSA』8(7)650-652

「パイオニアが語る日本の麻酔の歴史 心肺蘇生法の歩み」森岡亨『LiSA』8(4)372-375

「パイオニアが語る日本の麻酔の歴史 近代麻酔科学の夜明け Saklad 博士の来日」山田満『LiSA』8(1)90-93

「パイオニアが語る日本の麻酔の歴史 吸入麻酔の歩み」山村秀夫『LiSA』8(2)180-182

「パイオニアが語る日本の麻酔の歴史 日本麻酔学会の誕生」山村秀夫『LiSA』8(6)550-553

「パイオニアが語る日本の麻酔の歴史 脊椎麻酔の歩み」横山和子『LiSA』8(3)260-262

56 門人録

「曲直瀬家門人帳」田崎哲郎『啓迪』(19)1-8

「吉益家門人録(一、二)」町泉寿郎『日本医史学雑誌』47(1, 2)163-178, 394-410

「吉益家門人録の考察」町泉寿郎『日本医史学雑誌』47(1)3-

57 薬学史

- 「女・こども・男のくすり」(抄) 稲垣裕美『医譚』(77)46-47
- 「ニッパス50年の歴史」小田修明、松本和男『薬史学雑誌』36(2)161-166
- 「大伴家持が献上した薬方(抄)」後藤志朗『日本医史学雑誌』47(3)514-515
- 「必須医薬品の歴史と医薬品の合理的使用の今日的課題」斉尾武郎、栗原千絵子、松本佳代子、丁元鎮『臨床と薬物治療』20(1)85-89
- 「修験道(優婆塞)と鉱物(服石)」杉山茂『薬史学雑誌』36(1)18-26
- 「ビタミン研究のブレイクスルー ナイアシン ナイアシン研究の歴史」田口寛『ビタミン』75(2)63-71
- 「勅撰真本大同類聚方」にみる出雲由来薬方に関する研究」鳥居塚和生、後藤志朗、根本幸夫、平井康昭、伊田喜光『日本東洋医学雑誌』51(6)189
- 「日本におけるテリアカの受容(抄)」中村輝子、遠藤次郎『日本医史学雑誌』47(3)512-513
- 「北海道の薬史 北海道産薬用資源の企業化の歴史」西澤信『薬史学雑誌』36(2)102-103
- 「江戸時代における樟腦の利用(3)」服部昭『薬史学雑誌』36(1)

- 「木クレオソートとその生薬含有製剤の来歴」馬場達也、谿忠人『薬史学雑誌』36(1)10-17
- 「ホルター心電図を読む 抗不整脈薬の分類とそれに至る学説の変遷」平岡昌和『総合臨床』50(4)681-687
- 「北海道の薬史 北海道における薬学教育の歴史」吉沢逸雄『薬史学雑誌』36(2)99-101

58 蘭学史

- 「医療と倫理 まだ若い後輩たちへ 緒方洪庵と適塾の心 適塾の教育と洪庵の教え」芝哲夫『THE LUNG-perspectives』9(1)101-104
- 「日蘭交流四百年物故者法要」多留淳文『日本医史学雑誌』47(1)179-180
- 「江戸時代における化学および物産学の成立」土井康弘『慾齋研究会だより』(92)2-7
- 「京阪における蘭学事始—天明寛政期の江戸蘭学界との交流—」村田忠一『薬史学雑誌』36(1)1-6
- 59 リハビリテーション関係史
- 「義肢を装着した人々の社会的自立の変遷」坪井良子『アカデミージャーナル』8(4)245-251

60 検査

「古今東西 開頭術史話 補助検査法の発展」古和田正悦『ブレインナーシング』17(8)708-710

「臨床上有用であった脳波情報のまとめ 約40年間の経験からの検討」竹宮敏子、山口晴子、橋本しをり、杉下裕子、三浦庸子、渡辺弘美『日本臨床生理学会雑誌』31(4)159-164

「クレチン症と先天性副腎皮質過形成症 治療と長期管理 クレチン症のマススクリーニングの歴史と現状」新美仁男『小児内科』33(12)1609-1614

「大腸内視鏡の歴史ならびに内視鏡所見の認識をめぐって」丹羽寛文『早期大腸癌』5(4)329-346

「咽頭鏡の発見者は？」廣瀬肇『JOHNS』17(1)114-117

「内視鏡的ステンティング 内視鏡的ステンティングの歴史と進歩」増田勝紀『消化器の臨床』4(2)157-161

「心臓カテーテル法の開発の歴史と将来」山口洋『THE CIRCULATION FRONTIER』5(1-2)68-70, 78-81

61 その他

「座談会 二十一世紀にむけて 回顧と展望」『十全同窓會會報』(117)

「デイケア最近の進歩 デイケアの歴史と現在」池淵恵美『臨床精神医学』30(2)105-110

「自殺の作法—履物を脱ぐ—をめぐって—」川部裕幸『歴史

民族学』(19)47-60

「裸足と履物の文化的論理」川部裕幸『民族』(176)1-3

「NHK スペシャル『日本人はるかな旅—マンモスハンター、シベリアからの旅立ち』」白崎昭一郎『福井県医師会だより』(487)51-52

「Adapted Physical Activity パラリンピックの歴史と課題」中村太郎『バイオメカニクス研究』4(4)254-261

62 中国語文献

「開拓中医学思想史研究領域」李経緯・張志斌『中華医史雑誌』31(1)3-6

「海外所蔵及国内『聯目』未載之本草古籍述略」鄭金生『中華医史雑誌』31(1)7-12

「楊上善与『太素』類編的關係考」徐春波『中華医史雑誌』31(1)13-16

「朝鮮『医林撮要』所載中朝医学交流史料研究」梁永宣『中華医史雑誌』31(1)17-20

「隋唐時期医学思想特点的分析研究」張志斌『中華医史雑誌』31(1)21-26

「古代疫情資料整理方法初探」文・李永宸『中華医史雑誌』31(1)27-29

「鼠扑、鼠仆考辨」王振国『中華医史雑誌』31(1)30-32

「仲景医方与『小品方』方剂比較研究」袁冰・石東平『中華医史雑誌』31(1)33-35

- 「腎炎的歷史」張前進·甄橙『中華医史雜誌』31(1)36-40
- 「近代福建的西医教育」劉德榮『中華医史雜誌』31(1)41-44
- 「中国現代災害医療救助法史略」李天莉『中華医史雜誌』31(1)45-47
- 「敦煌『備急单驗藥方卷』首次綴輯」王淑民『中華医史雜誌』31(1)48-53
- 「对『靈枢』初編年限的幾点考証」牛占和『中華医史雜誌』31(1)54-56
- 「器官移植發展簡史与現狀」劉勇·黃炎『中華医史雜誌』31(1)57-59
- 「对兩種医史中訳本中若干中国医史問題的商榷」靳士英『中華医史雜誌』31(1)60-62
- 「中国第一位女西医—金雅」李燕『中華医史雜誌』31(1)6
- 「『劉涓子鬼遺方·序』中兩处与年号有関的錯誤」宋培瑚『中華医史雜誌』31(1)12
- 「淳于意墳塋初步考証」王光輝·薛立森·何中秋等『中華医史雜誌』31(1)20
- 「20世紀早期对甲状腺的認識」甄橙『中華医史雜誌』31(1)32
- 「救護車与現代救護交通工具」『中華医史雜誌』31(1)59
- 「古爾斯特蘭德与裂隙灯」『中華医史雜誌』31(1)53
- 「21世紀應該關注中西医学史的比較研究」程之范『中華医史雜誌』31(2)67-68
- 「先秦時期方剂学的萌芽与初步形成」朱建平『中華医史雜誌』31(2)69-74
- 「宋代官刊方書和個人方書特点探討」章健『中華医史雜誌』31(2)75-77
- 「宋代校正医書局改編『千金要方』的新証据」黃幼民·黃龍祥『中華医史雜誌』31(2)78-80
- 「爛喉痧出現年代初探」余新忠『中華医史雜誌』31(2)81-85
- 「試論清末衛生行政機構」曹麗娟『中華医史雜誌』31(2)86-88
- 「20世紀30年代上海公共租界医療救護概況」朱德明『中華医史雜誌』31(2)89-91
- 「論解放軍衛生工作的創始問題」高恩顯『中華医史雜誌』31(2)92-95
- 「造血干細胞移植術發展史」李統建·樓方定『中華医史雜誌』31(2)96-99
- 「明代御医顧定芳及其隨葬品」高毓秋『中華医史雜誌』31(2)100-102
- 「温病名家吳鞠通生平著述考」李劉坤『中華医史雜誌』31(2)103-105
- 「近代嶺南医家梁龍章」鄭洪『中華医史雜誌』31(2)106-109
- 「索蘭納斯及其对 Apgar 评分法的貢獻」袁岳沙·曾凡芝『中華医史雜誌』31(2)110-112
- 「夏至草文献考証」李佳·陳玉婷『中華医史雜誌』31(2)113-114
- 「鼻咽癌古文獻研究」周小軍·田道法『中華医史雜誌』31(2)115-118
- 「從双包山与馬王堆相関背景探討經脈漆雕年代」李觀榮·易

- 群・張永玲等『中華医史雜誌』31(2)119-121
- 「中国共产党重視中医藥史料兩則」張冰浣『中華医史雜誌』31(2)122-123
- 「20世紀中華医学会医史学分会工作回顧」梁峻『中華医史雜誌』31(2)124-126
- 「評『中外医学史』」陸肇基『中華医史雜誌』31(2)127-封三
- 「中国近代掌管兩所医院的女院長一何金英」李燕『中華医史雜誌』31(2)74
- 「湯氏病毒及其發現者」郝清華『中華医史雜誌』31(2)99
- 「『衞濟寶書』「痼」病考索」孫啓明『中華医史雜誌』31(2)109
- 「美国腫瘤内科学發展概要」許青・王傑軍『中華医史雜誌』31(2)112
- 「脊髓灰質炎簡史」李志平『中華医史雜誌』31(2)118
- 「「三一七」与国医節」『中華医史雜誌』31(2)80
- 「体温計小史」『中華医史雜誌』31(2)123
- 「加強医藥衛生文物收藏保護迫在眉睫」李經緯『中華医史雜誌』31(3)131-133
- 「体液論及其对西方医学的影響」張大慶『中華医史雜誌』31(3)141-147
- 「冠状動脈旁路移植術的歷史」張浩・胡盛寿『中華医史雜誌』31(3)148-152
- 「克劳德・伯爾納—實驗生理学的奠基人」任瑛・李曉敏・徐維廉等『中華医史雜誌』31(3)153-154
- 「清初湯若望改歷对運氣学說的影響」楊仕哲・張恒鴻『中華医史雜誌』31(3)155-159
- 「易学对中医学思想的影響」顧植山・陸翔『中華医史雜誌』31(3)160-164
- 「明代丹溪学派考」劉玉璋『中華医史雜誌』31(3)165-170
- 「龔飪庵止中医思想根源探索」劉索生『中華医史雜誌』31(3)171-174
- 「『医心方』中的經脈圖」孫永顯『中華医史雜誌』31(3)175-177
- 「『鑄飪』命名原由略考」石啓武『中華医史雜誌』31(3)178-179
- 「中国宫廷美容發展簡史」李春生・李潔・劉東宇『中華医史雜誌』31(3)180-183
- 「20世紀40年代我国的青霉素研制工作」牛亞華『中華医史雜誌』31(3)184-188
- 「『馬王堆医帛書』中「人病馬不癩」之「不」字談」孫啓明『中華医史雜誌』31(3)147
- 「關於宋代泉州的「善举」機構」郭鏡智『中華医史雜誌』31(3)159
- 「埃博拉的發現与流行」『中華医史雜誌』31(3)140
- 「巴爾干綜合徵的由来」『中華医史雜誌』31(3)174
- 「新撰『中国医学通史』四卷本的評介」靳士英『中華医史雜誌』31(3)189-封三
- 「18世紀西医的臨床医学」甄橙『中華医史雜誌』31(3)134-140
- 「洛克菲勒集團与医学」馬軍『中華医史雜誌』31(3)133
- 「程之范教授的學術思想与治学為人」甄橙・張大慶・梁峻『中華医史雜誌』31(4)195-201

- 「印度古代医典中的耆婆方」陳明『中華医史雜誌』31(4)202-206
- 「西漢遺址發掘所見「薰毒」、「薰力」考积」張顯成『中華医史雜誌』31(4)207-209
- 「「蒙汗藥」一詞新积」方曉陽·陶曉葵『中華医史雜誌』31(4)210-212
- 「電抽搐治療精神疾病的發現与發展簡史」張新凱·翁巍駿·盧虹等『中華医史雜誌』31(4)213-216
- 「腹腔鏡外科百年發展史」呂平·劉芳·戚昭恩『中華医史雜誌』31(4)217-220
- 「縱隔鏡術的發展歷史」王淦『中華医史雜誌』31(4)221-223
- 「淺論何夢瑤『医碁』之脈学成就」馬小蘭『中華医史雜誌』31(4)224-226
- 「『三指禪』中的脈学特点」曹美瑩『中華医史雜誌』31(4)227-229
- 「簡論朱熹对古代中医学發展的影響」徐儀明『中華医史雜誌』31(4)230-233
- 「張景岳補腎陰陽觀之探析」紀立金『中華医史雜誌』31(4)234-236
- 「張『素問积義』的學術思想」穆俊霞·李新毅『中華医史雜誌』31(4)237-239
- 「徐寿与「中西医彙通」主張的由来」吳文清『中華医史雜誌』31(4)240-241
- 「20世紀前葉我国衛生(健康)教育機構發展概況」張蘇萌·張

- 丹紅『中華医史雜誌』31(4)242-246
- 「固本培元派的形成和發展」項長生·汪幼一『中華医史雜誌』31(4)247-251
- 「鍾氏畚医世家的初步調查」李声国『中華医史雜誌』31(4)252-253
- 「評『先秦兩漢医学用語研究』」錢超塵『中華医史雜誌』31(4)254-255
- 「童養媳出身的女医生—康愛德」李燕『中華医史雜誌』31(4)220
- 「『本草綱目拾遺』中金鎖銀開的考积補」華青『中華医史雜誌』31(4)226
- 「『衛濟宝書』仙芝鈎沉」孫啓明『中華医史雜誌』31(4)233
- 「計劃生育的先驅」『中華医史雜誌』31(4)216
- 「病毒的最初發現」『中華医史雜誌』31(4)246

64 歐 文 文 獻

- American Association for the History of Medicine: Report of the Seventy-fourth Annual Meeting: Bull. Hist. Med.: 75(3)535-551
- ALBORN, Timothy: Insurance against Germ Theory: Commerce and Conservatism in Late-Victorian Medicine: Bull. Hist. Med.: 75(3)406-445
- ALLAN, Nigel: The Physician in Ancient Israel: His Status and Function: Medical History: 45(3)377-394

- BARTLETT, Peter: Legal Madness in the Nineteenth Century: *So. Hist. Med.*: 14(1)107-131
- BEDDIES, T./SCHMIEDEBACH, H-P.: Die Diskussion um die ärztlich beaufsichtigte Familienpflege in Deutschland. Historische Entwicklung einer Maßnahme zur sozialen Integration Psychisch Kranker: *Sudhoffs Archiv*: 85(1)82-107
- BLISS, Michael: Constructing History in Biography: A Symposium on William Osler: A Life in Medicine A Response to the Commentaries: *Bull. Hist. Med.*: 75(4) 767-770
- BLLOM, K.J./GRIVETTI, L.E.: The Mysterious History of Partridge Poisoning: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 56(1) 68-76
- BRADLEY, J./DUPREE, M.: Opportunity on the Edge of Orthodoxy: Medically Qualified Hydropathists in the Era of Reform, 1840-60: *So. Hist. Med.*: 14(3)417-437
- BRIDGEN, Paul: Hospitals, Geriatric Medicine, and the Long-term Care of Elderly People 1946-1976: *So. Hist. Med.*: 14(3)507-523
- BRÖER, R./HOFHEINZ, R.: Gesundheitspädagogik statt Tröstung: Die theologische Bewältigung von Krankheit bei Philipp Melancthon und Caspar Peucer: *Sudhoffs Archiv*: 85(1)18-44
- CARTER, K. Codell: Edwin Klebs's Grundversuche: *Bull. Hist. Med.*: 75(4)771-781
- CASH, Philip: In Memoriam: J. Worth Estes, 10 May 1934 -22 October 2000: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 56(3)284-287
- CLOW, Barbara: Who's Afraid of Susan Sontag? or, the Myths and Metaphors of Cancer Reconsidered: *So. Hist. Med.*: 14(2)293-312
- COKER, Richard: Civil Liberties and Public Good: Detention of Tuberculous Patients and the Public Health Act 1984: *Medical History*: 45(3)341-358
- COOK, G.C.: A Difficult Metamorphosis: The Incorporation of the Ross Institute & Hospital for Tropical Diseases into the London School of Hygiene and Tropical Medicine: *Medical History*: 45(4)483-506
- CRENNER, Christopher: Organizational Reform and Professional Dissent in the Careers of Richard Cabot and Ernest Amory Codman, 1900-1920: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 56(3)211-237
- CROXSON, Bronwyn: The Foundation and Evolution of the Middlesex Hospital's Lying-In Service, 1745-86: *So. Hist. Med.*: 14(1)27-57
- CROZIER, Ivan Dalley: The Medical Construction of Homosexuality and its Relation to the Law in Nineteenth-Century England: *Medical History*: 45(1)61-82

- DAVIES, Kerry: 'Silent and Censured Travellers'? Patients' Narratives and Patients' Voices: Perspectives on the History of Mental Illness since 1948: *So. Hist. Med.*: 14(2)267-292
- DEMAITRE, Luke: Domesticity in Middle Dutch 'Secrets of Men and Women': *So. Hist. Med.*: 14(1)1-25
- DENDLE, Peter: Lupines, Manganese, and Devil-Sickness: An Anglo-Saxon Medical Response to Epilepsy: *Bull. Hist. Med.*: 75(1)91-101
- ENGINEER, Amanda: The Society of Medical Officers of Health: Its History and its Archive: *Medical History*: 45(1)97-114
- FAIRCHILD, Amy L.: The Polio Narratives: Dialogues with FDR: *Bull. Hist. Med.*: 75(3)488-534
- FINGER, S./FERNANDO, H.R.: E. George Squier and the Discovery of Cranial Trepanation: A Landmark in the History of Surgery and Ancient Medicine: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 56(4)353-381
- FLINT, Karen: Competition, Race, and Professionalization: African Healers and White Medical Practitioners in Natal, South Africa in the Early Twentieth Century: *So. Hist. Med.*: 14(2)199-221
- FOLKERTS, Menso: Eine Verwechslung mit Folgen: Die Humanisten Acronius und Atrocianus: *Sudhoffs Archiv*: 85(1)55-63
- GRADMANN, Christoph: Robert Koch and the Pressures of Scientific Research: Tuberculosis and Tuberculin: *Medical History*: 45(1)1-32
- HALL, Lesley A.: The Archives of the Pioneer Health Centre, Peckham, in the Wellcome Library: *So. Hist. Med.*: 14(3)525-538
- HALL, Lesley A.: A "Remarkable Collection": The Papers of Frederick Parkes Weber FRCP (1863-1962): *Medical History*: 45(4)523-532
- HALPERIN, Edward C.: The Jewish Problem in U.S. Medical Education, 1920-1955: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 56(2)140-167
- HAMANAKA T./HADANO, K.: La Naissance de L'aphasiologie et de la Neuropsychologie Europeenne au Japon; La Signification Aphasologique de la Region de Broca: Une enigme: *Biometrie Humaine et Anthropologie*: 19(3-4)149-156
- HANKINS, Richard: The World Health Organization and Immunology Research and Training, 1961-1974: *Medical History*: 45(2)243-266
- HELM, Jurgen: Protestant and Catholic Medicine in the Sixteenth Century? The Case of Ingolstadt Anatomy: *Medical History*: 45(1)83-96

- HELVOORT, Ton Van: Scalpel or Rays? Radiotherapy and the Struggle for the Cancer Patient in Pre-Second World War Germany: *Medical History*: 45(1)33-60
- HODGES, Frederick M.: The Ideal Prepuce in Ancient Greece and Rome: Male Genital Aesthetics and Their Relation to Lipodermos, Circumcision, Foreskin Restoration, and the Kynodesme: *Bull. Hist. Med.*: 75(3)375-405
- HOLOWCHAK, M. Andrew: Interpreting Dreams for Corrective Regimen: Diagnostic Dreams in Greco-Roman Medicine: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 56(4)382-399
- HUGUET-TERMES, Teresa: New World Materia Medica in Spanish Renaissance Medicine: From Scholarly Reception to Practical Impact: *Medical History*: 45(3)359-376
- HULL, Andrew: Hector's House: Sir Hector Hetherington and the Academicization of Glasgow Hospital Medicine before the NHS: *Medical History*: 45(2)207-242
- JACKSON, Stanley W.: The Wounded Healer: *Bull. Hist. Med.*: 75(1)1-36
- KAHN, Richard J.: Women and Men at Sea: Gender Debate aboard the Hospital Ship Maine during the Boer War, 1899-1900: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 56(2)111-139
- KAY, Gwen: Healthy Public Relations: The FDA's 1930s Legislative Campaign: *Bull. Hist. Med.*: 75(3)446-487
- KEATING, P./CAMBROSIO, A.: The New Genetics and Cancer: The Contributions of Clinical Medicine in the Era of Biomedicine: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 56(4)321-352
- KNIGHT, Mary: Curing Cut or Ritual Mutilation? Some Remarks on the Practice of Female and Male Circumcision in Graeco-Roman Egypt: *Isis*: 92(2)317-338
- KÜGLER, D./HOLZHAUSEN, H-J.: Historisch Entwicklung der Graduierung von malignen Weichgewebstumoren: *Sudhoffs Archiv*: 85(1)45-54
- KUHLMANN, Ellen: The Rise of German Dental Professionalism as a Gendered Project: How Scientific Progress and Health Policy Evoked Change in Gender Relations, c. 1850-1919: *Medical History*: 45(4)441-460
- LELLA, Joseph W.: Constructing History in Biography: A Symposium on William Osler: A Life in Medicine Introduction: *Bull. Hist. Med.*: 75(4)740-744
- LELLA, Joseph W.: Constructing History in Biography: A Symposium on William Osler: A Life in Medicine Bliss's Osler: *Bull. Hist. Med.*: 75(4)760-766
- LLOYD, Josephine M.: The "Languid Child" and the Eighteenth-Century Man-Midwife: *Bull. Hist. Med.*: 75(4)641-679
- LOUDON, Irvine: Doctors and Their Transport, 1750-

- 1914: *Medical History*: 45(2)185-206
- MARTENSEN, Robert: The History of Bioethics: An Essay Review: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 56(2)168-175
- MCTAVISH, Lianne: On Display: Portraits of Seventeenth-century French Men-midwives: *So. Hist. Med.*: 14(3)389-415
- MCVAUGH, Michael: Cataracts and Hernias: Aspects of Surgical Practice in the Fourteenth Century: *Medical History*: 45(3)319-340
- MELI, Domenico Bertoloni: Blood, Monsters, and Necessity in Malpighi's *De Polypo Cordis*: *Medical History*: 45(4)511-522
- MEYEROWITZ, Joanne: Sex Research at the Borders of Gender: Transvestites, Transsexuals, and Alfred C. Kinsey: *Bull. Hist. Med.*: 75(1)72-90
- NATION, Earl: Constructing History in Biography: A Symposium on William Osler: A Life in Medicine Osler in Cushing and Bliss: Personal Notes of a Seasoned Oslerian: *Bull. Hist. Med.*: 75(4)755-759
- OFFER, Avner: Body Weight and Self-Control in the United States and Britain since the 1950s: *So. Hist. Med.*: 14(1)79-106
- OUEDRAOGO, Arouna F.: Food and the Purification of Society: Dr. Paul Carton and Vegetarianism in Interwar France: *So. Hist. Med.*: 14(2)223-245
- OUTRAM, Quentin: The Socio-Economic Relations of Warfare and the Military Mortality Crises of the Thirty Years' War: *Medical History*: 45(2)151-184
- PALLADINO, Paolo: Discourses of Smoking, Health, and the Just Society: Yesterday, Today, and the Return of the Same?: *So. Hist. Med.*: 14(2)313-335
- PELIS, Kim: Taking Credit: The Canadian Army Medical Corps and the British Conversion to Blood Transfusion in WWI: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 56(3)238-277
- RIVERA-GARZA, Cristina: Dangerous Minds: Changing Psychiatric Views of the Mentally Ill in Porfirian Mexico, 1876-1911: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 56(1)36-67
- ROBERTSON, Stephen: Separating the Men from the Boys: Masculinity, Psychosexual Development, and Sex Crime in the United States, 1930s-1960s: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 56(1)3-35
- SALAZAR, Christine F.: Die Ohnmacht der greichisch-römischen MediZin, insbesondere im traumatologisch-chirurgischen Umfeld.: *Sudhoffs Archiv*: 85(2)169-174
- SAVITT, Todd L.: Money Versus Mission at an African-American Medical School: Knoxville College Medical Department, 1895-1900: *Bull. Hist. Med.*: 75(4)680-716
- SCHLUMBOHM, Jurgen: 'The Pregnant Women are Here

- for the Sake of the Teaching Institution': The Lying-In Hospital of Gottingen University, 1751 to c.1830: *So. Hist. Med.*: 14(1)59-78
- SMITH, S.D.: Coffee, Microscopy, and the Lancet's Analytical Sanitary Commission: *So. Hist. Med.*: 14(2)171-197
- STOFFREGEN, Malte H.: Zwei frühe Fallbeschreibungen des adrenogenitalen Syndroms: *Sudhoffs Archiv*: 85(2) 138-168
- STRANGE, Julie-Marie: The Assault on Ignorance: Teaching Menstrual Etiquette in England, c. 1920s to 1960s: *So. Hist. Med.*: 14(2)247-265
- SYMONS, John: "A Most Hideous Object": John Davies (1796-1872) and Plastic Surgery: *Medical History*: 45(3) 395-402
- TAITHE, Bertrand : Morality is not a Curable Disease: Probing the History of Venereal Diseases, Morality and Prostitution: *So. Hist. Med.*: 14(2)337-350
- TEIGEN, Philip M.: Constructing History in Biography: A Symposium on William Osler: A Life in Medicine
- William Osler, Again: *Bull. Hist. Med.*: 75(4)745-755
- TIMMERMANN, Carsten: Rationalizing 'Folk Medicine' in Interwar Germany: Faith, Business, and Science at 'Dr. Madaus & Co.': *So. Hist. Med.*: 14(3)459-482
- TIMMERMANN, Carsten: Constitutional Medicine, Neoromanticism and the Politics of Antimechanism in Interwar Germany: *Bull. Hist. Med.*: 75(4)717-739
- WALKER, Liz: 'Conservative Pioneers': The Formation of the South African Society of Medical Women: *So. Hist. Med.*: 14(3)483-505
- WARNER, John Harley: In Memoriam: Stanley Webber Jackson, 17 November 1920-24 May 2000: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 56(3)278-283
- WEINDLING, Paul: The Origins of Informed Consent: The International Scientific Commission on Medical War Crimes, and the Nuremberg Code: *Bull. Hist. Med.*: 75(1)37-71
- WESTWOOD, Louise: A Quiet Revolution in Brighton: Dr. Helen Boyle's Pioneering Approach to Mental Health Care, 1899-1939: *So. Hist. Med.*: 14(3)439-457
- WILKINSON, L./BRADLEY, D.J.: A Note on the Early History of the Ross Institute: *Medical History*: 45(4)507-510
- WORBOYS, Michael: British Medicine and Its Past at Queen Victoria's Jubilees and the 1900 Centennial: *Medical History*: 45(4)461-482
- ZINK, A./REISCHL, U./WOLF, H./NERLICH, A.G./MILLER, R.: *Corynebacterium* in Ancient Egypt: *Medical History*: 45(2)267-272